

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第五號

大正四年十二月二十七日(月曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第五號 大正四年十二月二十七日

午前十時開議

第一 子爵仙石政固君請暇ノ件

第二 請願委員長報告

第三 大正五年度歳入歳出總豫算案並大正五年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第五 國庫出納金端數計算法案(政府提出、衆議院送付)

第六 帝國大學特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第七 造幣局設備擴張費ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第八 裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第九 大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十 東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十一 貨幣法中改正法律案(政府提出)

第十二 小樽區ニ爲替貯金支局設置ノ請願

第十三 札幌區ニ爲替貯金支局設置ノ請願

第十四 朝山郵便局設置並電信事務開始ノ請願

第十五 大湊鐵道速成ノ請願

第十六 國語國字國文ノ改良ニ關スル請願

○議長(公府徳川家達君) 一昨二十五日本院議員ニ當選セラレマシタ子爵大給近孝君ノ席次ハ吉田子爵ノ次席ト確定シタシマシタ、其部屬ハ第三部ニ定メマシタ、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

去ル十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

電氣事業法中改正法律案

郵便爲替法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案

同日第一部ニ於テ決算委員ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果男爵清水資治君當選セリ

同日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 男爵田 健治郎君 第二分科主査 伯爵奧平 昌恭君

第三分科主査 男爵久保田 讓君 第四分科主査 男爵村上敬次郎君

第五分科主査 男爵武井 守正君 第六分科主査 淺田 徳則君

同日決算委員長ヨリ分科擔當委員ヲ左ノ如ク決定セル旨ノ報告書ヲ提出セリ

第四分科擔當 男爵清水 資治君

去ル十八日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

華族世襲財產法改正法律案特別委員會

委員長 公府徳川 慶久君 副委員長 富井 政章君

去ル二十一日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治四十四年法律第五十一號中改正法律案

去ル二十二日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第一號

去ル二十三日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

國庫出納金端數計算法案

帝國大學特別會計法中改正法律案

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案

裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ否決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治三十二年法律第七十號中改正法律案

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第三回報告書

從四位子爵大給 近孝君

一昨二十五日子爵議員補選擧ニ當選セラレ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シテ

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

郵便爲替法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正三年臨時事件ノ經費支辨ニ關スル法律案

朝鮮森林特別會計法廢止法律案

大正五年度歳入歳出總豫算案竝大正五年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

昨二十六日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

假置場法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、去ル十八日橋本辰

二郎君病氣ニ付請願委員ノ辭任ヲ申出デラレマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ許可イタシマス、付テ

ハ第一部ニ於テ其補選擧ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、子爵仙

石政固君請暇ノ件、病氣ニ付三十六日間ノ請暇デゴザイマス、許可ヲ致シテ

御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二、請願委員長報告、請願委員長細川侯爵

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 請願委員會ノ御報告ヲ致シマス、正副委員長選舉、分科

ノ決定竝分科擔當委員ノ選定、各分科主査ノ選舉ハ何レモ十二月七日ヲ以テ

行ヒマシタ、之ニ附隨イタシマス細カイクトハ既ニ彙報ニ審カデアリマスカ

ラ茲ニ省略ヲ致シマス、今日マデ委員會ヲ開キマシタコトガ一回、分科會ヲ

開キマシタコトガ四回、文書表ヲ以テ報告ヲ致シマシタコトガ三回、委員會

ノ特別ノ報告ヲ致シマシタコトガ一回デゴザイマス、請願書ヲ受領イタシマ

シタル件數ガ百四十件デ、通數ニ致シマシテ四百五十二通デゴザイマス、之

ニ署名人員ハ三萬七百七十一名デゴザイマス、審査ノ經過竝結果ヲ簡單ニ申

上ゲマス、請願文書表掲載件數ガ百三十一件、通數ニ致シマシテ四百四十

三通デゴザイマス、右ノ内デ院議ニ付スベシト議決イタシタモノガ五件通數

ニ致シマシテ五通デゴザイマス、院議ニ付スルヲ要セズト議決ヲ致シマシタ

モノガ七件、通數七通デゴザイマス、審査未了ノモノガ百十九件、通數四百

三十一通デゴザイマス、尙ホ請願文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌモノガ九件

デ、通數ニ致シマシテ九通デゴザイマス此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三、大正五年度歳入歳出總豫算案竝大正五年度

各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件、第四、豫算外國庫ノ負擔

トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、審査期限ヲ定ムルノ件

〔河井書記官朗讀〕

大正五年度歳入歳出總豫算案竝大正五年度各特別會計歳入歳出豫算案

右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年十二月二十五日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年十二月二十五日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 諸君、私ハ茲ニ大正五年度歲計豫算ヲ御紹介申スノ光榮ヲ有シマス、大正五年度ノ總豫算ニ計上イタシマシタル歲入ハ經常部ニ屬スルモノ五億二千三百二十五萬九千九百九十九圓、臨時部ニ屬スルモノガ三十四萬七千八百四十五圓、合計五億五千三百五十四萬四千二百六十四圓デアリマス、其歲出ハ經常部ニ屬スルモノガ三億九千七百四十五萬二千七百七十一圓、臨時部ニ屬スルモノガ一億五千六百五十二萬九千九百三十三圓、合計五億五千三百五十四萬四千二百六十四圓ト相成リマス、ソレ故ニ經常歲入ヲ以テ經常歲出ニ比較シテ致シマスレバ一億二千五百五十七萬三千四百四十八圓ノ歲入超過トナル計算デアリマス、大正五年度歲入歲出ヲ、之ヲ前年度豫算ニ比較シテ致シマスレバ、歲入ニ在ッテハ經常部ニ於テ千四百八十九萬七千三百五十六圓、臨時部ニ於テ一億三千九百九十七萬九千九百三十五圓、合計一億五千四百八十七萬七千二百九十一圓ヲ減少イタシテ居リマス、歲出ニ在ッテハ經常部ニ於テ三千九百八十六萬八千七百七十七圓、臨時部ニ於テ一億四千三百七十萬五千二百二十九圓、合計一億八千三百五十六萬三千三百四十六圓ヲ減少スルノ計算トナリマス、併ナガラ前二箇年度ニ於テハ引續イテ豫算ノ不成立ヲ見タルノ結果、前年度豫算ハ甚シク實際ト遠カッテ居リマスガ爲ニ、此比較ハ單ニ形式上ノ數字ニ止リマシテ、歲計ノ實狀ヲ表明スルコトハ出來ナイト考ヘマス、ソレ故ニ更ニ前年度ノ實行豫算ニ對スル増減ヲ説明イタサウト存ジマス、大正五年度ノ歲入ヲ以テ前年度ノ實行豫算ニ比較シテ致シマスレバ、經常部ニ在ッテハ營業稅、相續稅、酒稅、砂糖消費稅、織物消費稅及取引所稅等ニ於テ增收ヲ見テ居リマスルガ、時局ノ影響ニ依リマシテ關稅ニ於テ多額ノ增收ヲ來タスノ外、所得稅及印紙收入等ニ於テモ減少スルモノガゴザイマスル、ソレト地租ニ於テ曩ニ公布セラレタル地租條例ノ改正等ニ依リマシテ減少イタマスガ爲ニ、差引租稅及印紙收入ニ於テ四百九十萬千八百八十三圓ヲ減少イタシマシタ、併シ一方ノ官業及官有財產收入ニ於テ專賣局益金等ノ減少スルモノハゴザイマスルガ、他ノ一面ニ郵便電信及電話收入、製鐵所益金並砲兵工廠益金等ノ増加スルモノガゴザリマスル爲ニ、四百九十七萬八千八百八十八圓ヲ増加イタシマス、又預金特別會計繰入、朝鮮總督府並臺灣總督府各特別會計繰入及雜收入ニ於テ増減差引四百四十萬千二百九十九圓ヲ減ズルニ依リマシテ、經常歲入全體ニ於テハ百三十二萬三千五百四圓ノ減少ヲ示シマス、臨時

部ニ在ッテハ軍艦水雷艇補充基金及治水費資金ノ廢止ニ伴ヒマシテ、是ガ繰入金ガゴザリマセヌ等ノ爲ニ三千二百七十五萬六千二百二十五圓ヲ減少イタシマシテ、結局歲入總額ニ於テ三千四百七十九萬九千六百二十九圓ト云フモノヲ減少スル計算ニナリマス、大正五年度ノ歲出ヲ以テ之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比較イタシマスレバ、經常部ニ在ッテハ一方ニ於テ貨幣交換差金恩給其他補充費途ニ屬シマスル分ニ於テ百七十七萬六千六百九十七圓、陸軍軍費並ニ憲兵費等ニ於テ從來臨時部ニ計上シタル朝鮮派遣部隊費ノ一部ヲ經常部ニ換ヘマシタル爲ニ三百二十二萬七千九百九十五圓、及朝鮮師團新設ノ爲ニ要スル差增額百二十五萬九千四百六十二圓、並新艦艇ノ建造ニ伴ヒマシテ海軍ノ軍費ニ於テ三百二十萬三千八百八十八圓ヲ増加イタシマスル、其外ニ滿蒙地方ノ開發ニ伴ウテ領事館ノ増設、內地產業ノ指導獎勵及通信機關ノ整備擴張等ニ關スル經費、並ニ預金利息等ニ於テ三百八十五萬九千六百三十一圓ノ増加ヲ要スルモノガゴザイマスガ、他ノ一方ニ於テハ軍艦水雷艇補充基金ノ廢止ニ伴ヒマシテ、是ガ繰入金ニ於テ千二百萬圓、國債額ノ減少等ニ伴ヒマシテ國債整理基金繰入ニ於テ五百三十二萬二千二百八十五圓ヲ減少イタシマスル、其他諸般ノ經費ニ於テ増減差引百三十五萬八千六百五十二圓ヲ減ズルニ依リマシテ、經常歲出ニ於テ五百三十六萬七百六十四圓ヲ減少イタシマス、臨時部ニ在ッテハ一方ニ於テ海軍軍備補充費ニ於テ本年度以降四箇年度間ニ總額四千五百三十二萬七千八百九十九圓ヲ追加スルノ計畫ヲ定メマシテ、其中本年度ニ於テ要シマス金額五百八十八萬五千四百六十八圓ヲ既定ノ年割額ニ追加イタシマスコトニナッテ居リマス、明治三十七八年臨時軍費ノ繰越使用額ヲ合併シテ之ヲ整理スルガ爲ニ陸軍整備費ニ四百四十萬六千九百一十一圓ヲ追加イタシマス、電話交換擴張費ニ於テ増額ノ計畫ヲ立テマシタル爲ニ百五十萬圓ヲ増加シテ居ル、其他造船獎勵費等補充費途ニ於テ百五十八萬九千四百四十八圓ノ増加ヲ要スルモノガゴザイマスルガ、他ノ一方ニ於テ既定繼續費年割額ノ減少ニ依ッテ三百十萬八千八百四圓ヲ減ジマスルノト、臨時事件ニ關スル諸般ノ經費ハ別ニ追加豫算トシテ要求スルコトニ致シマシタルガ爲ニ、其前年度ニ於テ要シタル金額二千三百三十一萬二千二百三十七圓ノ全部ヲ減少イタシマシタルノト、大體ニ關スル經費ヲ要セザル爲ニ五百三十九萬三千七百七十七圓ヲ減少イタシマスルノト、治水費資金特別會計ノ廢止ニ伴ヒマシテ是ガ繰入金ヲ要セザル爲ニ六百三十三萬五千七百三十一圓ヲ減少イタシマスルノト、朝鮮派

遣部隊費ノ一部ヲ經常部ニ移シ換ヘマシタル爲ニ三百二十二萬七千九百九十
五圓ヲ減少イタシマスルノト、ソレニ加ヘテ災害復舊費貸付ヲ要セザル爲ニ
増減差引七十二萬六千五百四十八圓ヲ減少スルニ依リマシテ、臨時部全體ニ
於テ二千八百七十一萬八千八百六十五圓ヲ減少イタシマシテ、結局歳出總額
ニ於テ三千四百七十九萬九千六百二十九圓ノ減少ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、
此政府ノ提案ニ對シマシテ衆議院ニ於テ之ガ審議ノ結果、長崎控訴院移轉案
ノ否決ニ伴ヒマシテ、總豫算中歳入ニ在ッテハ臨時部ニ於テ十萬九千九百三十
圓、歳出ニ在ッテハ經常部ニ於テ千九百三十圓、臨時部ニ於テ十萬圓、合計十萬
千九百三十圓ヲ削減イタシマシタル外全部政府ノ提案ヲ可決イタシマシテゴ
ザイマス、曩ニ歐洲ノ戰亂ガ勃發イタシマシテ我國ノ財政經濟上ニ多大ノ影
響ヲ蒙リマシテ、殊ニ大正四年度ニ於テハ其歳入ガ實行豫算ニ對シテモ多額
ノ減收ヲ免レナイ形勢ニナリマシテゴザイマス、ソレ故ニ政府ハ此形勢ニ鑑
ミテ銳意經費ノ節約ニ努メマシテ、本年度ニ於テモ尙ホ未ダ歳入ノ恢復ヲ見
ルニ至リマセヌ、而カモ時局ノ前途ハ容易ニ測リ知ルコトガ出來マセヌ故ニ、
政府ハ諸般ノ經費ニ對シテ極力之ガ緊縮ニ努メマシテ、唯緊急措キ難キモノ
ノミヲ實施スルニ止メタノデゴザイマス、各種ノ方面ニ互リ必要ナル施設ニ
對シテハ更ニ財政上相當ナル餘裕ヲ得ルヲ俟ッテ之ガ實行ヲスルノ外ハナイ
ト信ジテ居リマス、翻ッテ本年ニ於ケル我が經濟界ノ趨勢ヲ察シマスルニ未ダ
一般ニ不景氣ノ狀況ヲ脱スルコトガ出來マセヌ、併ナガラ時局ノ影響モ漸次
ニ緩和シテ參リマシテ、殊ニ造船航海ノ事業ヲ初メ軍需品竝ニ輸入代用品ニ
關スル諸工業ハ大體ニ於テ生氣ヲ帶ビテ參ルヤウデゴザイマス、又米國市場
ガ非常ノ好況ニナリマシタノデ、之ニ從ヒマシテ生絲貿易等モ亦不景氣ヲ恢
復シテ參リマシタ、而シテ本年十一月末マデニ於ケル新事業ノ計畫ト云フモ
ノハ、其資金總額二億四千餘萬圓デアリマス、昨年ノ同期ニ比較イタシマ
スルト未ダ百餘萬圓減少ヲ致シテ居リマスルガ、最近ニ至ッテ稍、増加ノ傾向
ヲ示シテ參ッタヤウデゴザイマス、又外國貿易ハ本年十一月末迄ニ於ケル輸出
額ガ六億三千六百餘萬圓、輸入額ガ四億八千八百餘萬圓、合計十一億二千五
百餘萬圓デゴザイマシテ、輸出ノ輸入ニ超過シテ居ルコトガ實ニ一億四千八
百餘萬圓ニ上ッテ居リマス、而シテ輸入ハ昨年同期ニ較ベマスト六千五百餘萬
圓ヲ減少イタシマスルガ、輸出ノ方ハ九千七百餘萬圓ヲ増加シテ居リマス、
輸出入合計ニ於テ三千二百餘萬圓ヲ増加シテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ

本年ノ輸出超過ト云フモノハ輸入ノ減少ニ依ッテ生ジタ超過ヨリモ、寧ろ輸出
ノ増進ニ依ッテ生ジタモノデゴザイマシテ、輸入ノ減退及輸出ノ増進ハ共ニ時
局ノ關係ニ基クト云フコトハ言フ須ヒヌ譯デゴザイマス、外國貿易ノ情勢ガ
此通リデゴザイマスル結果、國際貸借ハ順調ニ赴キマシテ、正貨ノ總現在高
ハ十一月末ニ於テ五億五百餘萬圓デゴザイマス、之ヲ昨年ノ同期ニ比較イタ
シマスルト、昨年ノ十一月末ニ於テハ三億二千六百餘萬圓デゴザイマスルカ
ラ、ソレニ比較ヲ致シマスルト約一億七千八百餘萬圓ヲ増加シテ居ルノデゴ
ザイマス、外國債ノ募集ニ依ラズシテ、斯ノ如ク多額ノ正貨ガ増加シタルコ
トハ未ダ曾テ其例ヲ見タコトガナイト云フコトハ、私ガ申スマデモナイコト
デゴザイマス、政府ハ益、此正貨ノ維持ニ努メマスルト同時ニ、此趨勢ヲ利用
イタシマシテ、事情ノ許ス限リ成ルベク外國ニ對スル債務ヲ輕減スルノ方法
ヲ專ラ講ジツツアルノデゴザイマス、而シテ正貨ノ増加ト云フモノハ自ラ商
工業ノ不況、金融界ニ於ケル警戒等ト相伴ヒマシテ、本年ノ初メヨリ金融緩
慢ノ情勢ヲ呈シテ參リマシテ、隨ッテ金利ノ低落、續イテ有價證券ノ騰貴ヲ見
ルニ至ッテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ是等貿易ノ順調、正貨ノ増加、金融
ノ緩慢、證券ノ騰貴、何レモ主トシテ時局ニ依ッテ生ジマシタル一時ノ變態ト
思ハレマスル、固ヨリ之ヲ以テ常時ノ形勢ト云フコトハ出來マセヌト思ヒマ
ス、目下短期ノ資金ハ極メテ潤澤ノヤウデゴザイマシテ低利ナルニモ拘ラズ、
稍、長期ニ互ル資金ハ之ト趣リ異ニスルハ、如何ニ金融界ガ時局ノ將來ヲ慮ッ
テ警戒スル所アルカ、又如何ニ今日ノ金融ガ變態ニ屬スルカヲ證明シテ餘リ
アルト思ヒマス、是等ノ變態ニ處シテ輕舉ニ失セズ、退嬰ニ偏セズ、穩健著
實ニ我が經濟界ノ進歩發展ヲ圖リ、平和克復ノ際ニ於テ來ルベキ内外諸種ノ
變化ニ對應スベキ覺悟ヲ有スルコトガ極メテ肝要ナリト信ジマス、諸君、私
ハ諸君ガ慎重ニ審議セラレテ、豫算案ニ協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシ
マス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ、質疑ノ爲ニ發言ヲ許
シマス、仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 極メテ簡單ニ豫算上必要ナ點ニ付キマシテ一二政府ニ質問ヲ
致シテ説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、第一私ノ政府ニ伺ヒタイトハ、國防
殊ニ海軍補充ニ關スル問題デアリマス、國防ノ問題ハ年々豫算上ニ重大ナ關

係ヲ持ッテ居リマシテ、常ニ上下兩院ノ論議ノ衝ニ當ッテ居ルノデアリマス、殊ニ本年ハ豫算ノ編製以前ヨリ海軍大臣ニ於テ重大ナル提案ガアルデアラウトハ、世人ト共ニ皆疑ッテ居ッタデアリマス、殊ニ其關係ガ財政上ニ餘程重大ナル關係ヲ持ツコトハ世人共ニ皆憂ヘテ居ッタ譯デアリマス、然ルニ豫算編成ノ際ニ於テ、豫テ重大ナル問題トナルデアアラウト考ヘタコトハ、意外ニ僅少ナル金額ノ計上トナリマシテ、財政上極メテ都合デアリ、又斯ル重大ナル關係ヲ斯ノ如ク僅少ナル金額ノ中ニ御制限ニナリマシタコトハ、一面ニ於テハ現内閣ノ洵ニ御成功デアルト存ジタノデアリマス、極メテ此點ニ付キマシテ都合ノ好イ調和ノ出來マシタコトハ、此内閣ノ爲ニ御成功デアルト存ジマスルト共ニ、之デ果シテ海軍大臣ハ國防上ニ闕陷ナシトシテ、其御職責ヲ全ウナサルベキモノデアラウカ、此點ハ如何デアアラウカト云フコトハ、僅少ナル金額ノ御計上デ相濟ンダト共ニ、我々亦此點ニ疑ヲ挾ンダ、當議會開會以來、上下兩院ニ於テ海軍大臣ヨリ此點ニ付キマシテノ御主張ハ、別シテ私共ハ注意ヲ致シテ居ッタデアリマス、海軍大臣ガ當議會開會以來、上下兩院ニ於テ御主張ニナリマシタ要點、私ガ海軍大臣ノ御主張トシテ誤ナシト信ズル點ハ斯ウ云フ御趣意デアッタト存ズルノデアアル、戰艦八隻、巡洋戰艦八隻ヲ主力トシテ編成シタル艦隊、世ニ謂ハユルハ八八艦隊ナルモノハ國防上絕對ニ之ヲ必要トスルノデアアルカ、絕對ニ必要トシテ居ル此八八艦隊ヲ全ウスル其前提トシテ先ヅ以テ八四艦隊ノ編成ヲ必要トシテ居ル、此八四艦隊ノ編成ハ國防上缺クベカラザルコトデアッテ、其一端トシテ、其一部トシテ本年ノ豫算ニ追加シタル四千五百萬圓餘ノ追加ハ、八四艦隊ノ一部トシテ之ヲ提案シタルデアリマス、即チ其殘額ニ屬スル全部ハ之ヲ來ル六年度ニ於テ提案スル積リデアアル、而シテ其總額ハ二億五千四百萬圓ニ相當スベキモノデアッテ、是ハ敢テ年度割トハ稱スベキモノデハナイガ、大正六年度ヨリ大正十一年度マデ唯今申ス總額二億五千四百萬圓ト云フモノヲ必ズ提案ヲ致スノデアルト、而カモ此事柄ハ獨リ海軍大臣トシテ主張スルバカリデハナイ、防務會議ニ於テモ此事ハ決定ヲ致シテ居ルノデアアル、又内閣會議ニ於テモ此事ハ決定イタシテ居ルノデアアル、故ニ必ズ來ル六年度ヨリ之ヲ提案スルト云フコトハ公言シテ憚ラヌノデアアル、極メテ大ナル決心ヲ以テ堂々ト此事ヲ御主張ニナッテ居ルノデアリマス、私ハ海軍大臣ノ當議會ニ於テノ上下兩院ニ於ケル御主張ハ、斯クノ通りデアルト了解ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、若シモ此了解ニ誤ガア

リマシタナラバ、ソレハ誤ッテ居ルト云フコトノ御答ヲ得タイ、誤ッテ居リマセヌカッタナラバ、私ハ別段海軍大臣ヨリノ御答辯ヲ煩ハサナイ、海軍大臣トシテハ職責上是ダケハ必要デアアル、故ニ今本員ガ了解イタシタ通りニ相違ハナイト云フコトデアリマスルナラバ、別段ニ御答ヲ煩ハサナイ、直チニ進ンデ大藏大臣ニ伺ヒタイ、大藏大臣ガ今期議會ニ於テ海軍補充問題ニ對シテノ御答辯ノ要旨ハ、唯今私ガ海軍大臣ノ御主張デアルトシテ申述ベマシタ事柄ヲ總テ是認サレテ居ル……是認サレテ居ル、總テ海軍大臣ノ言ハル通り、即チ大正六年度ヨリ十一年度マデニ總額二億五千四百萬圓ニ相當スベキモノヲ提案スルト云フ點ニ付テ、防務會議ニ於テ決定サレタコトニモ異存ハナイ、内閣會議ニ於テ斯ノ通り決定シタコトニモ異存ハナイ、又來年度ヨリ之ヲ提案ヲ致スコトニモ異存ハナイ、總テ海軍大臣ノ御主張ニナッテ事柄ノ全部ヲ承認サレテ、何等ノ異議ノナイト云フコトヲ是認サレテ居ルノデアリマス、而シテ斯マデ海軍大臣ノ總テノコトヲ御承認ニナリツツ、此重大ナル海軍問題ノ提案ニ付テ、其最モ必要ナルハ之ニ伴フ財政計畫デアリマス、之ニ必要ナル財源ヲ如何ニ調達スルカト云フコトガ問題デアアル、然ルニ防務會議ノ決定シタルコトモ、内閣會議ニ於テ決定シタルコトモ、來年度ヨリ總額ノ提案ヲナスコトニ異議ノナイト云フコトヲ仰セニナルニモ拘ラズ、此財政計畫ニハ成案ハナイ、成竹ハナイ、今ハ非常ナ事變ノ際デアアル、今年ハ愚カノコト、來年カラ何時マデドウナルコトヤラ分ラヌ、隨ッテ斯ル場合ニ於テ將來ノ計畫ヲ立テテ譯ニハ行カナイ、又其財源モ如何ニシテ之ヲ調達スベキヤハ分ラナイ、唯最善ノ努力ヲ致スノミデアルト……最善ノ努力ハ、國務大臣トシテハ萬般ノコトニ最善ノ努力ヲ致サレルコトハ申スマデモナイ、茲ニ至ッテ私共ハ疑ハザルヲ得ナイ、驚カザルヲ得ナイノデアリマス、同一ノ内閣ニ於テ、海軍大臣ハ來年度ヨリ二億五千四百萬圓ニ相當スベキモノヲ大正十一年度マデニハ是非提案ヲスル、即チ來ル六年度ヨリ十一年度マデニ總額二億五千四百萬圓ノ追加ガ目前ニ迫ッテ居リマシテ、而シテ大正五年ヨリ向ウ八年マデ、即チ既定歳出トモ申スベキモノガ一億三千五百萬圓、是ハ既定ノモノデゴザイマス、此一億三千五百萬圓ニ、更ニ六年度ヨリ二億五千四百萬圓ヲ追加シテ、總額合計三億八千九百萬圓、是ダケノモノヲ大正六年ヨリ向ウ十一年マデ、略々年々六千萬圓乃至六千五百萬圓ホドダケノモノハ、ドウシテモ茲ニ支出シナケレバナラヌト云フ計算ニナッテ參ルノデアリマス、又其上ニ大正十二年ノ

後ニ於テハ、八四艦隊以外ニ屬スル八八艦隊ニ必要ナル經費マデヲモ提案スルト斯ウ仰セニナツタ、是ダケ國家ノ負擔、殊ニ今日ノ場合ニ於テ斯ル大枚ノ計畫ガ目前ニ定マツテ居ル、否ソレバカリデハナク既ニ其經費ノ一部ガ提案サレテ居ルノデアリマス、是ノ協賛ヲ求メラレテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ對シテ未ダ以テ財政計畫ノ定マレルモノハナイ、財源ノ如何ニ付テモ今以テ考ハナイ、是デ果シテ相濟ムベキモノデアリマセウカ、防務會議ニ大藏大臣ノ參加セラルルハドウ云フ譯デアアル、内閣會議ニ於テ最モ重要ニ、殊ニ斯ル大切ナル國防計畫ヲ議定セラルルニ際シテ、最モ重要ニ在ル者ハ即チ財政ノ當局者デアリマス、是ダケノ國防計畫ヲ全ウシテ、斯ル巨額ノ支出ヲスルト云フコトノ定マツテ居リマスル場合ニ於テハ、少クモ其以前ニ財政計畫ハ無クテハナラヌコトト私ハ思フ、又何ヲ措イテモ大切ナノハ財源デアリマスカラ、ドウシテモ此財源即チソレニ伴フ經費ガ定マツテ茲ニ初メテ防務會議ニ於テモ決定サレ、内閣會議ニ於テモ決定サレ、而シテ議場ニ向ツテ御明言ニナツテ然ルベキモノダト私ハ思フ、大藏大臣ハ來年ノコトハ來年度ダ、今年カラマダソレヲ言フ必要ハナイト斯ウ云フコトノ仰セガアルヤウニ見エル、是ガ普通ノ問題ナラバ其通りデ宜シイノデアリマス、言換ヘレバ今年提案サレテ居リマスル四千五百萬圓ノ國防問題ナルモノガ、ソレガ他ニ關係ナクシテ單獨ニ歩ンデ參ル一ツノ提案ナラバソレデ宜シイ、去リナガラ此四千五百萬圓ト云フ今年ノ提案ハソレバカリデ單獨ニ歩ンデ居ル問題デハナクシテ、海軍大臣御自身ガ御明言ニナリマス如クニ、八四艦隊ノ一部デアルト仰セニナル、即チ俗ニ申ス全計畫ノ頭ガ出テ來タ、此頭ノ出ルト共ニ全體ガ伴ツテ居ルノデアリマス……全體ガ伴ツテ居ルノデアリマス、從ツテ此四千五百萬圓ノコトヲ我ミガ協賛ヲ致ス場合ニハ否ヤデモ應デモ全額ニ付テノコトノ審議攷究ヲ致サナケレバナラナイノデアリマス、一部ヲ出シテアトハ否ヤデモ應デモ其通りニ遂行セシメル、是ハ御無理ニナル、ソレデアリマスルカラ普通ノ場合トハ違フ、來年ノコトダカラ今ハ說明ヲシナイト言ツテ之ヲ御差措ニナル譯ニハ參ラナイ、本年全部ニ對スル計畫ノ御説明ガナクテハ相濟マナイノデアリマス、是ハ今日唯今此所ニ申スノデハナイ、從來國防問題ノ議定サレマスル頃ニ屢々貴族院ニ於テ主張サレタル議論デアリマシテ、常ニ論議サレテ居ル點デアリマスルカラ、決シテ此際事新シク斯様ナコトヲ申スノデハナイ、是ハ現大藏大臣ハ御承知デアラセラレヌカモ存ジマセヌガ、從前カラ貴族院ニ於

テハ國防問題ヲ論議サルル當時ニ、總テ斯ル方針ノ下ニ慎重ニ審議サレテ居タト私ハ思フノデアリマス、其次ニ私ハ大藏大臣ニ敢テ御無理ハ申サナイ、來年ノコトハ今ハ分ラヌ、分ラナイト仰セニナルナラバ分ラナイデ宜シイノデアリマス、ソレデ宜シイ、サウナツタラバ海軍大臣ハ何トサレル……サウナツタラバ海軍大臣ハ何トサレル、來年ノコトハ當テニナラナイ、今カラハ何トモ定マラヌト斯ウナツタナラバ、ソレデ海軍大臣ハ國防上ニ關陷ハナイ、責任ハ全クソレデ遂行サレルト云フコトニナルノデアリマスルカ、此所ガ私ハ海軍大臣ノ主張ヲ至當ナリトスレバ大藏大臣ハ何トナサル、又大藏大臣ノ主張ガ至當ナラバ海軍大臣ノ職責ハドウナルカ、私ハ斯ク考ヘテ居リマス、國防ノ問題ハ國家ニ大切デアアル、是ハ何ヲ措キマシテモ國家ニ重要ナル國防問題ハ全ウシテ置カナケレバナラヌコトト私ハ思フ、サテサウ致シマスルト種々ナ枝葉ノ論ハ別ニシテ置イテ、少クモ今日ノ場合ニ於テハ八四艦隊ハ全ウシテ置カナケレバナラヌカモ知レヌ、サウ致シマスルト獨リ海軍大臣バカリデハナイ、我々國民總テノ者モ矢張り考ヘテ見テ來六年度ヨリ向ウ大正十一年度位マデノ間ニ、茲ニ唯今申ス新ニ追加サルト云フ二億四千五百萬圓、之ニ既定ノ總額ヲ加ヘテ約四億近イ金ヲ支出セヌケレバナラヌ場合ニナツテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ國家國民トシテ考ヲシテ置カナケレバナラヌコトダト思フ、其上ニ尙ホ大正十二年、大正十四年ニハ償還ノ迫ツテ居ル外國公債モアルノデアリマス、少カラヌ外國公債ニシテドウシテモ大正十二年、大正十四年ニ於テハ支拂ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居ル分ガアル、外ニ對シテハ十二年、十四年ニ於テ仕拂ノ迫ツテ居ル公債モアリ、内ニ於テハ國防上ニ約四億ニ近イ金額ノ支出ヲ要スル、實ニ國家トシテハ多事多端ノコトデアアラウト存ジマスル、斯ノ如キ重要ナ場合デアレバ茲ニ大藏大臣トシテ此大切ナ場合ニ、財政ノ局ニ當ツテ御居デニナルト云フ以上ハ、セメテ之ニ對シテノ經綸ハアツテ然ルベキモノダト思フ、計畫ハアツテ然ルベキモノダト私ハ思フノデアリマス、ドチラニ致シマシテモ國防ニ關スル費用デアルトカ若クハ國家ノ直接ノ責任ニナツテ居ル外債償還、是等ノモノハ租稅其他ノ經常歲入ヲ以テ之ニ充テテ、國防其外種々ナモノハ租稅其外經常歲入ヲ以テ之ニ充テテ、鐵道ヲ始メトシテ其他ノ事業ニ屬スベキモノハ緩急斟酌、時ニ從ツテ斟酌ノ付クヤウニ、是等ノ事業公債ニ依ツテヤル、茲ニ財政計畫上一定ノ經綸計畫ガアツテ然ルベキモノト思フ、然ルニ今日マデノ狀況ハ將來ニ對シテ大

ナル負擔ノ目前ニアルニ拘ラズ、何等ノ經營計畫ナクシテ置イテ、而シテ同
ジ内閣中ニ於テ海軍大臣ノ御主張ト大藏大臣ノ御主張トハ相容レナイノダ、
此兩大臣ノ相容レ難イ事柄ヲ……相容レ難イ事柄ヲ、之ヲ十分ニ解決モセズ、
十分ナル節制調和モ加ヘズ、唯僅ニ四千五百萬圓ノ金額ヲ計上サレテ、後ノ
問題ハソックリ他日ニ御譲リニナル、推諉サレテ居ルト、斯様ニ考ヘマシタ
ラバ如何ナルノデアリマセウカ、若シモ斯様デアッタナラバ甚シク責任ヲ重ジ
ナイ、多クノ問題ハ他日ニ讓ッテ置イテ、唯一時ヲ姑息スルト申シテモ誣言デ
ナイト申サネバナラヌコトニナルカト存ジマス、決シテ現内閣ニ於テハ斯様
ナ御趣意デアナイト存ジマス、願ハクハ此點ニ付テ明瞭ナル御答辯ヲ煩ハシ
タイト存ズルノデアリマス、其次ニ私ハ豫算ニ最モ重大ナ關係ヲ有ッテ居リマ
スルノハ外交ノ問題デアラウト存ジマス、何故ナラバ外交ノ關係ガ極メテ平
穩無事デアリマスナラバ、ソレナラバ豫算ノ審議モ其積リヲ以テスルガ當
然、若シモ外交上ノ關係ガ將來或ハ險惡デアルカ、或ハ不安ノ状態ガアルカ
ト云フコトニナリマスレバ、同時ニ豫算ノ審議ニ於テモ亦其考ヲ以テ考慮ヲ
加ヘルガ當然ト考ヘル、之ニ付キマシテ私ハ外務大臣ニ伺ヒタイコトガアル、
ソレハ今回歐洲ニ勃發イタシテ居リマスル戰亂ハ實ニ空前ノ大戦亂デアリマ
ス、此大事ノ場合ニ於テ我ガ日本帝國ハ……我ガ日本帝國ハ此歐羅巴ノ大戦
亂ニ際シテハドウ云フ關係ニ居ルカ、ドウ云フ立場ニ我ガ帝國ハ立ッテ居ルモ
ノカト云フコトハ是ハ極メテ大切ナコトト思フノデアリマス、是ハ……今日
我ガ帝國ハ日獨開戦ノ爲ニ歐羅巴ノ大戦亂ノ一部ニ加ッテ居ルノデアリマス、
實ニ重要ナ關係ニナッテ居ルノデス、此日獨開戦ノ關係、ソレガ爲ニ歐羅巴ノ
戰亂ノ一部ヲモ擔任ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、此關係ハ昨年日獨開戦
ニ付テ公布ニナリマシタ宣戰詔書ガ此意味ヲ誠ニ明瞭ニ御示シニナッテ居ル
ト私ハ思フノデアリマス、宣戰詔勅ヲ拜讀スレバ極メテ我ガ日本帝國ガ歐羅
巴ノ戰亂ニドウ云フ關係ヲシテ居ルカト云フコトハ誠ニ瞭然ダラウト存ジマ
ス、ソレハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、此宣戰詔書ヲ拜シマシテモ今
回歐羅巴ニ起ッタ戰亂、其禍殃、其禍ガ東洋ニ及ンデ來ルコトハ實ニ憂フル所
デアル、故ニ我ガ日本帝國ハ何處マデモ嚴正中立ヲ確守スル、嚴正中立ヲ確
守シテ歐羅巴ノ戰亂ノ禍ノ及ンデ來ナイヤウニスル積リデアッタ、去リナガラ
唯日英同盟ノ關係ハ……日英同盟ノ關係ハドウシテモ此際獨逸ト戰ヲ開カザ
ルベカラザルノ已ムヲ得ヌコトニナル、加フルニ東洋ノ平和ヲ保ツ上ニ於テ

亦已ムヲ得ナイ、茲ニ於テカ平和ニ對シテ存々タルニモ拘ラズ、遂ニ獨逸ト
戰ヲ宣スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタモノデアアル、是ハ歐羅巴ノ戰亂ニ對スル我
ガ日本帝國ノ立場、其關係ヲ明カニサレテ居ルノデアリマシテ、我々臣民ト
シテハ一ニ此詔書ノ趣意ヲ深く奉戴スル外ナイト存ジマス、即チ日英同盟
ノ關係ト東洋ノ平和ヲ保ツコトノ爲ニ餘儀ナク戰ニ加ハル、全ク關係ハソレ
デアアル、然ルニ茲ニ私ガ外務大臣ニ伺ヒタイコトノアルノハ、昨年ノ九月五
日倫敦ニ於テ英佛露三國ガ單獨ニハ媾和ヲシナイト云ッタ所謂倫敦宣言デア
リマス、此倫敦宣言ガ當時世上ニ發表ニナリマシタ際、アレハ恰モ臨時議會
開會ノ際デアリマス、其臨時議會開會ノ際ニ加藤前外務大臣ハ當議場ニ於テ
當時ノ經過ヲ御報告ニナリマシタ、其御報告ニナリマシタ際ニ我ガ駐英大使、
日本大使ニ英國ノ外務大臣ヨリ交付サレタ覺書ヲ此席上デ朗讀ニナッタノデ
アリマス、其覺書ノ趣旨ハ英國政府ト佛露兩國政府トノ間ニハ從來何等ノ取
極モナカリシニ依リ今次協同ニ從事スル戰爭ニ關シテ右二國政府ト協約ヲ締
結シタリ、日英兩國政府間ニハ同盟協約第二條ニ規定アルガ故ニ今改メテ斯
ノ如キ協約ヲナスノ必要ナシ、今改メテ斯クノ如キ協約ヲナスノ必要ナシ、
英國政府ガ媾和締結媾和條件ニ關シ佛露兩國政府ト取結ビタル協約ハ英國政
府ガ既ニ負擔スル義務タル日英同盟協約ノ規定ヲ毫モ變更ズルモノト看做ス
ベカラザルモノ竝英國政府ガ戰鬪及媾和ニ關シ日本ト協同シ且ツ雙方合意ノ
上ニ於テ之ヲ爲スハ言フ俟タザルモノタルコトヲ佛露兩國政府ニ通告シタリ、
是デアリマス、洵ニ此趣旨ハ明瞭デアアル、能ク我ガ帝國ノ立場、歐羅巴ノ戰
亂ニ對スル我ガ立場即チ先ニ申シタ宣戰詔書ノ御趣旨ニ能ク相合シ、事理極
メテ明瞭デアアル、即チ關係ハ唯日英同盟ノ關係デアアル、主トシテ日英同盟ノ
關係トシテハチャント其規定モアルノデアアル、今更改メテ……今更改メテ佛
露兩國其他ノ國ト單獨ニハ媾和ヲシナイト云フコトノ約束ヲ結ブ必要ハナ
イ、是ハ洵ニ明瞭デアリマス、事理一貫イタシテ居リマス、實ニ能ク前後ノ趣
旨モ貫イテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ我々貴衆兩院總テノ者ハ加藤前外務
大臣ノ御報告ヲ是認シテ、成ルホド至當デアアルト總テ之ヲ是認シタ、然ルニ
昨年ハ何等ノ必要ハナイ……何等ノ必要ハナイト云ッタ其事柄ガ本年ハソレ
ガ變ッテ遂ニ單獨ニハ媾和ヲシナイト云フ倫敦宣言ニ加入サレタト云フハド
ウ云フ次第デアアル、單ニ勸誘默シ難シト云フノデ加入サレタノデアリマス、
將又帝國ノ立場ニ於テ之ニ加入スルコトノ已ムヲ得ザル必要ガアッタノデア

ルカドウカ、若モ本年加入サレルコトガ我が帝國ノ立場ニ於テ必要ナモノデアッタト云フナラバ昨年ノ前外務大臣ノ行動ハ我が日本帝國ヲシテ不十分ナル立場ニ置イタノデアリマス、サウデナクシテ昨年前外務大臣ノ行動ガ至當デアッテ十分我國ノ立場ヲ明瞭ニサレテ居ッタモノダト云フナラバ本年ノ行動ハソレ以上所謂必要ノナイコトヲナサレタコトニナル、是ハドチラガ至當デアルカ、之ニ付テ若モ昨年ト本年トノ間ニ何等ノ矛盾ガナイト云フノデアリマスナラバ何等カノ事情ノ變化ガアッタト云フノデナクテハナラヌ、若モ變化ガアッタト云フナラバドウ云フ變化ガアリマシタカ、昨年開戦ノ當時即チ九月五日前後ノ歐羅巴ノ情勢ト本年ニ至ッテノ情勢ハドウ云フ變化ガアリマシテ、昨年ハ必要ナシト云ッタ事柄ガ本年必要ニナッテ來タノデアリマス、ドウカ此點ニ付キマシテ能ク了解ノ付キマスルヤウニ説明ヲ得タイト存ジマス、尙ホ此際友邦支那ニ對シテ警告ト申スノデアリマス、將タ好意的勸告ト申スノデアリマス、其形式ノ如何ハ暫ク措イテ或ル申込ヲナサレタ、其結果ハドウナリマシタカ、ドウ云フ事情ニナッテ居リマスルカ、最早此御見込モ定マッテ居ルコトト存ジマス、將來ノ御考モアラウカト存ジマスルカラ、之ニ付キマシテハドウ云フ考ヲ以テ將來ハドウヤル積リデアルカト云フコトヲ承リタイ、尙ホ一ツ序ナガラ極ク簡單デアリマス、我が國內ニ在留ヲ致シテ居ッタ印度人二名ニ對シテ退去ヲ命ジタ、而シテ其命ゼラレタモノガ潛匿ヲシタトカ、遁走ヲシタトカ云フ爲ニ折角發布サレタ命令ガ實行ガサレナカッタト云フヤウナ趣ニ承知シテ居ルノデアリマス、斯ルコトハ國家ノ威信ト體面ニハ關係セヌノデアリマス、ドウナリマシタノデアリマス、是モ序ナガラ承知ヲ致シテ置キタイト存ジマス、ドウカ以上數點ニ對シマシテ最初ノ問題ハ大藏大臣、次ノ問題ハ外務大臣ヨリ願ハクバ懇篤ナル御説明ヲ煩ハシタイ、尙ホ御答ノ模様ニ依リマシテハ私ハ再度御尋ヲ致スカモ存ジマセヌ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 唯今ノ仲小路君ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、海軍補充ノ計畫ガ本年豫算ニ計上セラレタルモノハ一部分デアッテ、其他ノ計畫ノ殘部ハ六年度以後ニ提出ヲスルト云フコトニ付テ其財源ヲドウスルカト云フコトガ一ツノ御質問デアッタト思ヒマス、申スマデモナク財政モ經濟モ變化シツアル時デゴザイマスカラ今後如何ナル變化ヲ見ルカ、大體ハ豫測スルコトモ出來マスガ、マダ目下將ニ變化ヲシツアルノデゴザイマス、ソレ

故ニ此海軍補充ノ財源ハ孰レノ方面ニ又ハ孰レノ方法ニ依ッテ其支辨ノ途ヲ求ムルカト云フコトハ此變化シツアル財政ノ狀態ノ中ニ立ッテ今日之ヲ定メルノハ適當ヲ得ルコトガ甚ダ難イト信ズルノデアリマス、ソレデ此六年度以後ノ計畫ニ對スル財源ハ其時ニ至ッテ適當ノ方法ヲ講ズル積リデアアルノデアリマス、即チ衆議院ニ於テ最善ノ努力ヲ盡スト云フ答辯ヲシタノハ此邊ノ意味デアリマス、ソレカラモウ一ツノ御質問ハ償還期限ノ切迫シタル外債ニ對スル計畫ハ如何ト云フ御尋ノヤウニ聽取リマシタガ、是モ矢張り財政經濟ノ變化ノ最中ニアッテ、永久ニ互ル計畫ヲ確定スルト云フコトハ是ハ頗ル困難ナコトデゴザイマス、併ナガラ此一時ノ變態ニ處シテ、其變態ヲ利用シテ外國ニ對スル債務ノ減少ヲ計ルト云フコトハ最モ今日ノ急務ト存ジマス、既ニ此一端ハ目下衆議院ニ審議中ニナッテ居リマスル追加豫算ニモ其趣意ガ現ハレテ居ルノデ、尙ホ今後益々講究ヲ盡シマシテ、將來ニ互ル計畫モ適當ノ時機ニ之ヲ決定シタイト存ジテ居リマス、先ヅ財政ニ關スル御質問ニ對シテ是ダケ御答ヲイタシマス

○仲小路廉君 唯今ノ大藏大臣ノ御答ニ付キマシテ此際簡單ニモウ一言イタシテ置キタイ、唯今ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、今日ノ場合ニ於テハ來年ノコトノ見込ハ付カナイ、事情ガドウ變化スルヤラ、ドウナルヤラ分ラナイ、是モ私ハ一通リ御尤ナコトト存ジマス、サスレバ大正六年度以後ノモノハ分ラナイト見テ宜イノデアリマス、國防問題ニ付テ即チ海軍ノ補充問題ニ付テ海軍大臣ガ仰セニナリマシタ如クニ防務會議ニ於テモ決定ヲシテ居ル、内閣會議ニ於テモ決定シテ居ル、ガ來年度カラ必ズ提案スルモノダト極ッテ居ラヌト心得テ宜シウゴザイマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 御答ヲ致シマス、私ノ言葉ガ盡シマセヌ所デ誤解ヲ招キマシタノハ甚ダ遺憾デゴザイマス、分ッテ居ラヌト云フ譯デハゴザイマセヌ、八四艦隊ノ計畫ハ内閣ニ於テモ之ヲ遂行スルノ決定ヲ致シテ居リマス、從ッテ其財源ヲ求メナケレバナラヌト云フコトモ決定イタシテ居リマス、併ナガラ私ガ唯今御答ヲ申上ゲマシタル趣意ハ財源ヲ求メナケレバナラヌト云フコトハ決定シテ居リマス、其財源ヲ何レノ方面ニ何レノ方法ニ依ッテ求メルカト云フコトハ今日ノ財政經濟ノ變化ノ最中ニアッテ今日ニ決定スルノハ其當ヲ得ナイト政府ハ信ズルノデ、其時ニ至ッテ適當ノ方法ヲ定メテ此海

軍補充ノ財源ヲ作ルト云フコトハ確ク決心イタシテ居ルノデゴザイマス
○仲小路廉君 計畫ヲ認メテ居リ、而シテ財源ガ極マラス、財源ヲ保留シテ
置イテ來年カラ全計畫ヲ提案スル、是程私ハ分ラヌコトハナイト思ヒマス、
ガ之ニ付キマシテハ尙更ニ詳細御尋ヲ致スベキ時機ガアラウト存ジマス、私
ハ更ニ御尋ヲスル時機ガアルト云フ言葉ヲ殘シテ置キマシテ、直チニ外務大
臣ヨリノ御答辯ヲ煩ハシマス

〔國務大臣男爵石井菊次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵石井菊次郎君) 仲小路君ノ御質問ノ第一項ハ帝國政府ガ倫
敦宣言ニ加入シタル理由ハ如何ト云フコトデアルト思ヒマスガ、此問題ニ付
キマシテハ過日本會議場ニ於キマシテ私ノ演說中ニ丁度此間ニ當嵌マル回答
トシテ申上ゲテ置イタ答デアリマス、念ノ爲ニモウ一遍私ハ繰返シテ申上
ゲマスレバ、今回帝國政府ガ倫敦宣言ニ加入イタシマシタノハ之ニ加入スル
ノ絶對必要ヲ認メテ加入シタ譯デナイノデ、去リナガラ今回帝國政府ガ倫敦
宣言ニ加入スルト云フコトハ聯合國間ノ結束ノ堅固ナルコトヲ内外ニ宣明ス
ル次第デ、戰爭ノ前途ニ對シ、又媾和ノ際ニ於テモ聯合國間ノ地位ヲシテ一
層明瞭ナラシムルノ利益ガアルト認メマシテ之ニ加入シタ次第、繰返シテ申
シマスレバ絶對必要アリタルガ故ニ非ズシテ、加入シタルヲ以テ利益ト認メ
タルガ故ニ加入シタル次第、第二ノ御尋ノ帝國政府ガ支那政府ニ與ヘタル
友誼的勸告、アノ問題ハドウデアアル、及將來ノ見込如何ト云フ御尋デアリマ
シタガ、帝國政府ノ勸告ニ對シテ支那政府ノ回答ガアリマシタ、其回答ノ内
容ハ詳シク申上ゲルコトハ出來ナイガ、大略ハ支那ニ於テ帝政ハ多少延期ス
ルト云フ意味ノ回答ノアッタコトハ是亦過日私ノ演說中ニ申上ゲタ所デ、現ニ
今日ハ帝政ハ行ハレテ居ラヌ、將來ノ見込ニ付キマシテハ茲ニ申上ゲルコト
ヲ差控ヘタイト存ジマス、ソコハ御諒察ヲ願ヒタイト存ジマス、印度人ノ放
逐、是ハ命令ヲ出シマシタコトハ出シマシタガ、印度人ハ隱匿ヲ致シマシテ、
今日マダ放逐ノ命令ヲ實行スルト云フ運ビニハ至リマセヌ

○仲小路廉君 外務大臣ノ私ノ第一ノ問題ニ對スル御答ハ單獨デ媾和ノ條約
ニ加入スルコトハ絶對ノ必要アッタ譯デハナイガ、聯合國間ノ結束ヲ内外ニ知
ラシメル、一面ニハ媾和會議ノ際ニ於テ利益ガアル、ソレデアリマスガ、私
ノ伺ヒマシタ趣意ハ日本ノ歐羅巴ノ戰亂ニ關係シテ居ル地位ハ日英同盟ノ關
係及東洋ノ平和ヲ保ツコトノ必要デアルト云フ關係デアルト云フコトハ宣戰

ノ詔書ニ依ッテ明カデアリマシテ、我敢テ聯合軍ニ加ハリ、協商側ニ立ツト云
フコトハ全體ノ趣意ニ違ウテ居リハセヌカト私ハ信ズルノデアリマス、隨ッテ
歐羅巴ノ戰局ニ對スル我が帝國ノ立場ガ宣戰詔書ノ御發布當時ノ状態ト變ハ
ルベキ立場ニ立ツト云フナラバ事ハ甚ダ重大デアラウト思フ、然ルニ斯ル重
大ナル關係ヲ絶對的必要ガアッタノデハナイトハドウ云フコトデアリマスガ、
又ソレガ爲ニ媾和會議ノ際ニ利益ガアルトハドウ云フコトデアリマスガ、媾
和ノ際ニ主張スベキ我が帝國ノ立場カラデアリマス、加ハルコトニ依ッテ更ニ
利益ガ生ズルトハドウ云フコトデアリマスガ、斯様ナコトノ御説明ガアリ、
斯様ナ御答辯ガアリマスルカラシテ、世人ハ疑ヲ増スノデアリマス、斯様ナ
重大ノ關係ヲ有スル……單獨ニハ媾和ヲシナイト云フヤウナ關係ニ立ツノハ
恰モ我が帝國ヲ聯合軍ト同様ノ立場ニ立タシメルヤウナ結果ニナリハシナイ
カ、果シテ斯様ナコトニナルト利益バカリデナイ、是ヨリ生ズル重大ナ種々
ノ義務ガ湧イテ來ハシナイカト云フコトハ國民一般ニ憂フルノデアリマス、
斯様ナ重大ノ關係ニ立ツベキモノヲ輕々ニ絶對ニ必要ガアッタ譯デハナイケ
レドモガ、サウシタ方ガ宜カッタト云フ御答辯ハ益、此疑ヲシテ深カラシメル
結果ニナリハセヌカト存ジマス、次ニ支那問題及印度人ニ關スル等ノ問題ニ
就キマシテハ、私ハ唯今ノ御答辯ニ依リマシテ少シモ了解ハ致シマセヌノデ
アリマス、去リナガラ斯ル問題ハ此席上ニ於テ屢、應答ヲ重ネマスルコトハ
是モ亦外務大臣トシテハ御困リデアリマセウシ、私モ此點ニハ注意ヲスルガ
至當ト考ヘマス、是モ同様ニ相當ノ場合ニ於キマシテ都合好キ御説明ヲ承ル
場合ニ或ハ委員會ニ出席ヲ願ッテ詳細御説明ヲ煩ハスコトガアルカモ存ジマ
セヌ、私ハ此意味ニ於テ今日ノ質問ハ差控ヘルコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 水野鍊太郎君

○水野鍊太郎君 私モ豫算ニ關係スルコトニ付テ二三質問シタイコトガアリ
マス、要ヲ摘ンデ御尋ヲ致シマスルカラ何卒其點々ニ付テ政府ノ……國務大
臣ノ御答辯アラムコトヲ希望スルノデアリマス、海軍補充費ノコトニ付キマ
シテ仲小路君カラ御質問ガアリマシテ大藏大臣カラ之ニ御答ニナッタノデア
リマスガ、尙ホ私ハ十分ニ了解シ得マセヌ、故ニ重ネテ要ヲ摘ンデ質問シタ
イト思ヒマス、先ヅ海軍大臣ニ御願シタイノデアリマスガ、海軍大臣ハ八八
艦隊ノ完成ニ付テハ累代ノ海軍大臣ガ努力シ、而シテ現海軍大臣モ亦同様ニ
努力シテ居ルト云フコトハ誠ニ感謝スルノデアリマスガ、果シテサウ云フコ

トデアリマスノナラバ、八八艦隊ガ直チニ完成シ得ラレズトモ、少クモ謂ハユル八四艦隊ナルモノハ必要デアラウト思フノデアリマスガ、本年ノ豫算ヲ見マスト云フト、僅ニ八箇年ニ亙リ四千五百萬圓ダケノコトヨリ外分ラナイ、果シテサウ云フコトデアルナラバ八四艦隊ハ如何ニシテ完成セラレル努力ヲナサレテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、今年ノ豫算ハ八四艦隊ノ前提デアルト云フコトデアリマスガ、然ラバ此殘ル部分ニ付テハ必ず御計畫ガナケレバナラヌ、ソレデ伺ヒタイノハ現時ノ國防上ノ狀況ニ於キマシテ八四艦隊ト云フモノヲ完成スルコトガ絶対ニ必要ナラバ、伸バシタリ縮メタリスルノヲ許サナイ、他ノ事業ノ如キ伸縮ヲ許スモノデアリマス、鐵道ノ如キ、築港ノ如キ、港灣ノ如キハ伸縮ヲ許スノデアリマスガ、國家ノ生存上必要ナル八四艦隊ト云フモノハ絶対ニ必要デアルト云フコトデアルナラバ、此財政計畫上ノ狀況ニ依ルト云フ御答ニナルノデアリマセウガ、絶対ニ必要ナモノデアルト云フノナラバ、何故財政上ノ狀況ト云フコトヲ以テ御満足ナッタノデアルカ、又果シテ財政上今年ノ狀況ハ之ヲ許サズトスルナラバ、來年ヨリ殘部ノ計畫ヲナサルト云フコトデアリマスガ、來年ハ財政ノ狀況如何ニ拘ラス是非之ヲ來年度カラハ計畫スルト云フ御答デアルノデアリマスガ、之ヲ私ガ間フ所以ハ果シテサウ云フ意味ニ海軍當局者ハ必要ト認メテ居ルト云フコトデアレバ、八四艦隊ノ完成ト云フコトハ是ハ絶対ニ動カスコトハ出來ナイ、絶対ニ動カスコトガ出來ナイノナラバ之ニ伴フ財政ノ狀況ニ依ッテ動カスコトハ出來ナイ、サウデハナイ、是ガ時ニ依リ動カシ得ル、財政ノ狀況ニ依リ伸縮シ得ルト云フノナラバ是ハ別デアリマスガ、ソコニ於ケル所ノ海軍大臣ノ誠實ノ御考ハ如何デアリマスガ、先ヅ第一ニ此點ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 唯今水野君ノ御質問ニ御答イタシマス、第一ノ御質問ハ此八四艦隊ヲ絶対ニ必要トスルヤ否ヤ、斯ウ云フノガ要スルニ御質問デアッタカト拜聴イタシマシタ、當局ハ之ヲ絶対ニ必要ト認メテ居リマス、然ラバナゼ今年出サナカッタカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、御説ノ通り

財政上ノ都合デ今年ハ出サナカッタノデゴザイマス、而シテ此場合一言附加ハテ置キタイト考ヘマスノハ、當局ノ計畫イタシテ居リマス八四艦隊ノ殘部ハ五年度ヨリ十二年度マデニ完成イタスト云フ豫定ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、其中五年度ニ著手シヤウト希望イタシマシタモノハ全部今回ノ豫算ニ提出シテゴザイマスノデゴザイマス、故ニ計畫ト致シマシテハ別ニ變更ヲ來スト云フコトハナイノデゴザイマス、又來年財政ガ許サナカッタ場合ニハドウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ財政上ノコトデゴザイマスノデ私ガ御答ヲ仕兼ネマスルケレドモ、財政ニ關シ素人考ヨリ押シマスレバ絶対ニ計畫ガ實行ハ出來ナイト云フ如キコトハナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○水野鍊太郎君 唯今ノ御答ニ依リマスレバ、八四艦隊ノ完成ハ今日ノ國防上ニ絶対ニ必要デアルト云フ前提ハ極ッタモノト見ナケレバナルマイト思ヒマス、果シテ是ガ必要ナリトスルノナラバ、次ニ大藏大臣ニ伺ハナケレバナラヌコトガアリマス、大藏大臣ハ海軍大臣ヲ希望ヲ認メラレタノデアリマスガ、承ル所ニ依リマスレバ、是ハ閣議ニ於テ決定シテ居ルト云フコトヲ云ハレテ居ルヤウデアアルガ、閣議ニ於テ決定スルト云フコトデアレバ、是ハ單リ海軍大臣ノ希望意見ニアラズシテ、内閣全體ガ之ヲ是認シタモノト認メナケレバナラヌ、而シテ之ヲ是認シタノハ、八四艦隊ノ完成ヲ今日ニ於テ絶対ニ必要ナリト云フ意見ガ決ッタモノト見テ宜カラウト思フ、ソレガアルノナラバ……ソレダケノモノヲ完成スルノガ必要デアルト云フノナラバ、ソレニ要スル財源ハ斯ニスルト云フ自信ト抱負ガドウシテモ無ケレバナラヌト思フ、是ハ固ヨリ御有リニナルノデゴザイマセウ、御有リニナリマセウカラ、私ハソコヲ一ツ虚心坦懷ニ承リタイト思フノデアリマス、我々議員ガ豫算ヲ協賛スルノハ、形ハ一年度ノ豫算デアアルガ、併ナガラ其一年度ノ豫算ヲ協賛スル上ニ於キマシテ、事將來ニ涉ルベキ經畫ガアルナラバ、之ニ對スル財源ハ凡ソ如何ニナサル譯デアアルカト云フコトヲ聞クコトハ、是ハ當然我々ノ責務デアラウト思フ、若シ此如何ヲ知ラズシテ單ニ一年ノ豫算ヲ協賛シタト云フコトナラバ是ハ一面ニ於テ又我々ハ其責任ヲ分タナケレバナラヌト思フノデアリマス、故ニ此責任上カラシテモ政府ノ誠實ナル御答辯ヲ望ムコトハ是ハ當然ノ要求ト思ヒマス、併ナガラ謂ハユル財政經濟ノ狀態ト云フモノハ日ニ月ニ變ハルモノデ、是ハ現時ノ實際ニ於テモ變ハリツツアルト云フコトハ是ハ御尤ナコトデアラウト思フノデアリマスカラ、正確ナルコトヲ御尋シヤウト

云フノデハナイ、凡ソ今日ノ情態ガ續イテ行クナラバ斯ノノ腹案ハ有ツテ居ル、若シ又戰爭デモ濟ンダナラバ又斯ノノ考ヲ有ツテ居ル、八四艦隊ノ完成ヲ決定スルニ至ッタナラバ、財政上ニ關スル自信ハ斯ノデアルト云フ、是ハ大體ノコトデ宜シイ、大凡ノ見込ハ此所ニアルト云フ位ナコトハ我ニハ承ツテ置カナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラシテ、例ヘバデス、今日ノ狀態デ建造費ガ思フヤウニ行キマセヌトキハ已ムヲ得ズ他ノ事業マデモ繰延ヲシ、若クハ行政整理ヲヤツテマデモ之ヲ財源ト云フ工合ニシテ出スモノデアアル、若シ又ソレガイカナイナラバ、謂ハユル募債シテモヤルモノデアアル、尙ホ已ムヲ得ヌケレバ増税マデモナスモノデアアルト云フ位ナ大凡ノ見込ハ有ツテ居ルダラウ、ソコヲ私共ハ承リタイト思ヒマス、是ハドウシテモ將來ノ財政ノ計畫ヲ我ニガ協賛スル上ニ於キマシテハ一年度ノ協賛ニ依ツテヤルコトハ出來ナイ、將來是ダケハ斯ノ如キモノデアアルト云フ凡ソノ見込ダケデモ宜シイ、私ハ實際來年度ニ至ツテ今日言ハレタコトガ變ツテモ決シテ我ニハ言論ヲ以テ之ヲ責メナイ、今日ハサウ云フ考ヲ有ツテ居ルノデアアルト云フコトヲ聞イテ我ニハ安心シテ協賛スルコトガ出來ル、國民モ亦之ニ依ツテ始メテ満足スルノデアアル、然ルニ是ハ恰モ自信ノアルカノ如ク何等此點ニ付テハ一言ヲ加ヘズシテ唯最善ノ努力ヲナスト云フコトヲ以テ之ヲ説明ニナラヌノハ如何デアリマスカ、若シ秘密ヲ要スルト云フコトナラバ、秘密會デアツテモ御腹案ダケハ承ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ又之ニ依ツテ私共決シテ現當局者ノ言質ヲ取ラウト云フ考デモ何デモナイ、ソレハ時ニ依ツテ變ハリマスカラ、今日御明言ナサツテ置イテモ是ガ其時ニ依ツテ變ハルコトガ生ジマセウ、ソレデモ私ハ決シテ惡イト云フノデハナイ、大凡今日先ズ是ダケノ考ヲ有ツテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ方モソレヲ以テ御安心ナサレテ此四千五百萬圓ノ計畫ニハ御同意アリタイト、斯クマデ云ハレテ、謂ハユル和衷協同シテ其事ヲ一ツ御相談ヲシタ方ガ宜クハナイカ、是ハ政府當局者トシテ當然盡スベキ義務デアアルト同時ニ又我ニ議員トシテ之ガ答辯ヲ望ムハ當然ノ要求デアアルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ何卒此點ニ付キマシテハドウゾモウ少シ私ハ御答ヲ望ミマス、武士ハ相身互デ、我ニモ随分困難ナ局ニ當ッタコトデ知ツテ居リマス、知ツテ居リマスガ、是ダケ位ノコトハ政府ニ對シテ問ウテモ宜カラウト思フ、二十八議會デ我ニノ先輩ガ海軍ノ補充ノ財源ニ付テ問ウタ時ニ、前西園寺首相ハ已ムヲ得ズンバ増税ヲナスノ已ムナキニ

至ルカモ知レヌト云ハレタコトガアル、其位ノコトハ御互ニ懇切ニ一ツ國政ノ事務ハ協議シタイト考ヘルノデ、敢テ私ハ難キヲ求メルノデハナイ、ドウゾ此點ニ付キマシテハ胸襟ヲ御披キニナツテ其一應ノ御見込ダケヲ御示シアラムコトヲ切ニ希望イタシマス、次ニモウ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、現内閣ノ成立ニ當リマシテ内外ノ市場ニ公債ヲ募集セズト云フコトヲ云ハレタコトガアルト思ウテ居リマスガ、世間デハ之ヲ稱シテ謂ハユル非募債主義、所ガ現大藏大臣ハ非募債主義ナドト云フコトハ言ッタコトハナイ、内外市場ニ公債ヲ募集セズト云ッタガ、非募債主義ト云ッタコトハナイ、誠ニサウダラウト思ヒマス、ソナナ主義ナドガアラウトハ私ナドハ思ヒマセヌ、兎ニ角内外市場ニ公債ヲ募集セズト云フコトヲ仰シヤッタト私ハ思ヒマスノデアリマス、之ニ付テ伺ヒマスガ、此御考ハ今日尙ホ之ヲ有ツテ御出ニナルノデアリマセウカ、先キホドノ御演說ヲ承リマスレバ今日ノ時局ニ對シテハ政府ハ募債セズ又我ニハ之ヲ以テ時局ニ應ズルコトヲ望ムト云フコトハ誠ニ是ハ同感デアリマスガ、今日ノ時局ヲ考ヘマスレバ公債……財政ノ上ニ於キマシテハ金融市場ニ多少變化ヲ來タシタト云フコトハ現大藏大臣モ必ズ御認メニナツテ居ルコトデアラウト思フ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ、募債シ得ル情況ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、斯ウ云フ情況ニナリマシタラバ、前議會ニ於テ若槻藏相デアッタ場合ニ本會ニ提出セラレタ所ノ國債基金ノ減少ノコトデアアル、アレハ當時内外ニ募債シ能ハザル情況デアラカシテ、鐵道資金ヲ供給スル上ニ於テ已ムヲ得ズ一般會計カラ鐵道特別會計ニ二千萬圓ヲ貸附ケルト云フコトデアッタト思フノデアリマス、私共ハ其當時ノ情況ニ於テ國債基金ニ手ヲ著ケルト云フコトハ、國家將來ノ爲ニ必ズ煩ヒヲ爲スモノデアアル故ニ、此事ニ手ヲ著ケルト云フコトダケハ何卒止メテ貰ヒタイト云フ意見ヲ有ツテ居ッタノデスガ、當時諸種ノ事情ヨリシテ此法律案ハ通過シテ二千萬圓ト云フモノハ鐵道ノ方ニ廻ハサレタノデ、來年度ノ豫算ヲ見マシテモ亦同一ノコトニナツテ居リマスガ、今日ノ如ク内地ニ於テ募債シ得ラレル狀況ニ立至ッタ時代ニ於キマシテモ尙ホ此計畫ハ御遂行ニナルノデアリマスカ、或ハ今日ノ經濟狀態ハ一時ノ變態デアアル、必シモ永續スベキモノデハナイカラ、之ヲ以テ永遠ノ制度トスルト云フコトハイカスト云フ御說モアリマセウガ、全體カラ申シマスレバ鐵道ノ資金ハ一般會計カラ補充スルト云フコトハ是ガ寧ロ私共ハ變態デアアルト思フノデアリマス、已ムヲ得ナイ所ノ方策デアッタラウト思ヒマスカラシ

テ、若シ鐵道資金ニ相當ナ財源ヲ得ラレル場合ニナリマシタラバ成ルベク普通ノ原則ニ基キタイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ假ニ經濟上ノ狀況ガ募債シ得ラレザル狀況ニナリマシタラバ、是ハ鐵道事業ヲ止メルノ外ハナイ、或ハ繰延ヲナス外ハナイ、ソレハ別問題ト致シマシテモ兎ニ角減債基金ハ適當ノ時期ニ於テ元ニ戻スト云フコトハ私ハ將來ヲ考ヘマスト云フト國家ノ爲ニ必要デアアル、其點ニ付キマシテハ政府ハ如何ナル考ヲ有ッテ居ラレルカ、之ヲ要シマスルノニ私共ノ考ハ伸縮シ得ルモノ、國家ノ事業トシテ伸縮シ得ルモノハ是ハ其時ノ事情ニ依ッテ財政計畫ヲ立ツルコトハ已ムヲ得ナイ、伸縮シ得ザルモノハドウシテモ已ムヲ得スト云フモノニナッタナラバ其方ハ事業ノ方ヲ先キトシテ、サウシテ如何ナル方法ヲ以テモ是ガ財源ヲ供シテ往カネバナラヌモノト思ヒマス、具體的ニ申シマスレバ國防問題ノ如キハ必要ナリトスルナラバ是ハドウシテモ財源ヲ造ッテ往カナケレバナラヌ、他ノ事業ノ如キハ是ハ財政ノ狀況ニ依ッテ伸縮シ得ベキモノデアラウト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテドウゾ大藏大臣デモトナタデモ宜イノデアリマスガ、今少シク御懇切ニ、我々ガ如何ニ此點ニ付テ憂慮シテ居ルカト云フコトヲ御考ヘ下サイマシテ、詳細ナル御答辯ヲ得ルコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 御答へ申上ゲマス、海軍補充ノ計畫ニ付テ其財源ハ如何ニスルカ、六年度以降ハ如何ナル方法ニ依ッテ財源ヲ求メルカト云フ御尋ノ要點ト存ジマスガ、無論此八四艦隊ノ計畫ヲ遂行スルコト云フコトニ政府ノ決心シテ居ル所デアルト申スコトハ仲小路君ニ御答へ申上ゲタヤウナ次第デアリマシテ、隨ッテ六年度以降モ其財源ガ絶對ニナイトハ信ジマセヌ、丁度海軍大臣ガ御答へ申上ゲマシタヤウニ絶對ニ此遂行ガ出來ヌト云フヤウナ財政ノ狀態デハナイト思フノデアリマス、併ナガラ此財源ヲ得ルニハ水野君ノ仰セノ如ク種々其方法ガアルノデアリマス、又一方ノ歳出ヲ減少シテ此財源ヲ造ルト云フコトモ一法デアリマセウ、又歳入ノ自然ノ増加ニ依ルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウ、又進ンデ歳入ノ増加ヲ計ッテ此財源ヲ求メルト云フコトモ一ツノ方法デアアルニ違ヒナイ、併ナガラ其何レノ方法ニ依ルカト云フコトハ仲小路君ニ御答へ申上ゲマシタヤウニ、今日目下正ニ財政經濟モ變換最中ニアルノデアリマスルカラ、ソレヲ今日ニ於テ決定スルノハ其當

得ナイト政府ハ信ジテ今日ニ決定ヲシナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、隨ッテ此六年度以降ニ係ル補充計畫ノ豫算ト云フモノハ此五年度豫算提出ノ際ニハ提出ヲ致シマセヌデ、五年度ノ豫算ニハ五年度ヨリ著手スル必要アル部分ニ限ッテ此豫算ニ計上シタノデアリマス、六年度以後ニ著手スルベキ艦艇ノ製造費ハ其時ニナッテ財政ノ狀態ニ適應シテ其財源ヲ提供スルト云フ次第ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ度々申上ゲマシタヤウニ此計畫ヲ遂行スルト云フコトハ政府ノ決定シテ居ル所デアリマス、此財源ヲ求メルト云フコトモ、財源ヲ造リ出スト云フコトモ決定シテ居ルノデアリマス、唯其財源ヲ何レノ方面ニ求メ、何レノ方法ニ求メルカト云フコトハ今日之ヲ決定スルノハ目下ノ財政經濟ノ變換最中ニ於テ之ヲ決定スルノハ其當ヲ得ナイト信ズルノデアリマス、何レ適當ノ時期ニ至ッテ適當ノ方法ヲ講ズルト申スヨリ外ハナイ、必ズ此財源ヲ求メナケレバナラヌト云フコトハ決定シタ事實デア

ルノデス、ソレカラ鐵道資金貸附ノコトハ今公債ヲ募集スレバ募集シ得ナイコトハナイニ依ッテ之ヲ改メル意思ハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、成程目下ノ經濟狀態ハ公債ノ募集ガ出來ナイコトハゴザリマセヌ、現ニ先般ハ三千萬圓ノ鐵道債券ヲ募集イタシマシテ、十分ノ成功ヲ告ゲテ居リマス、此事實ヨリ見テモ今日公債募集ガ出來ナイト云フコトハ無論ナイノデアリマス、併ナガラ毎々申スヤウニ此經濟界モ今ヤ變化シツツアルノデアリマス、唯今ハ公債募集ハ出來ルドコロデハナイ、寧ろ經濟界ハ公債募集ヲ歡迎スルト致シマシテモ今後ハ如何ニ變化スルカ、來年ニモナッタナラバ或ハ公債募集ガ困難ニモナラヌトモ限リマセヌ、要スルニ今經濟界ハ變態ノ中ニアルノデアリマスルカラ、モウ少シ變化ノ狀態ヲ見極メテ將來ノ見据ガ附イタ以上ニ於テ改メルナラバ改メタ方ガ其當ヲ得タルコトト信ジテ居ルノデアリマシテ、目下ノ所デハ矢張り此鐵道ノ資金ハ從來定マッテ居ル計畫ヲ遂行シタ方ガ穩當デアルト信ジテ居リマス

○水野鍊太郎君 甚ダ御迷惑デアリマセウガ、モウ一點伺ヒタイ、大藏大臣ノハドウモ私ハ御説明ニナッテ居ナイト思ヒマス、大藏大臣ノハ國防問題トシテ八四艦隊ノ計畫ハ決定シタ、是ガ財源ヲ求メルコトモ決定シタ、ソレハ當然ノコトデアラウト思フ、計畫ガ決定シテ財源ヲ求メルコトガ決定シナイ譯ハナイ、財源ヲ求メルコトガ決定シタト云フ御答ハ御答ニナラヌ、私ノ問フノハ此所ニアル、其財源ハ如何ニシテ求メルノデアルカ、ソレハ今日内閣ノ閣

議ガ決定シテ居ラヌ問題カモ知レマセヌ、併ナガラ大藏大臣トシテハ今日ノ狀況カラ見テ斯ノコトモ腹案ヲ有ッテ居ル、自信ヲ有ッテ居ルト云フダケハ參考トシテ御話ニナルコトガ寧ろ適當ノヤウニ思ヒマスノ御尋シタノデアリマス、併ナガラ是ハ水掛論デドウゾ言ウテ貴ヒタイト云ウテモ言ハヌト云ヘバソレマデノ話デアリマスカラ、是以上御聞シテモ役ニ立タヌコトト思ヒマスカラ、何卒適當ノ時期ニ、マダ議會モ長ク續キマスカラ、ドウゾ其點ニ付テハ十分ニ胸襟ヲ御披キニナラムコトヲ望ミマス、ソレカラモウツ文部大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、此内閣ハ傳染病研究所ヲ内務省所管ヨリ文部省ノ所管ニ移サレタノデアリマス、其理由トスル所ハ學制ノ統一、傳染病ノ研究ノ如キハ是ハ教育ノ機關ニ於テスルノガ適當デアアル、故ニ内務省所管ヨリ文部省所管ニ移スノガ適當デアルト云フ理由ノ下ニ移管サレタノデアリマスガ、此理由ノ如何ニ付テハ是ハ今此所デ御問シヤウト云フノデアアリマセヌ、其理由ニ付テハ誠ニ遺憾ナガラ同意ハシテ居ラナイ、ソレヲ御問シヤウト云フノデアアリマセヌガ、ソレト同時ニ昨年水産講習所ノ移管問題モ起ツタノデアリマス、現ニ前文相ノ時ニ於テハ豫算マデモ出來テ居ッタノデアリマス、又農商務省ノ方ノ當局者モ是ハ移管スルコトガ必要デアアル、又移管スベキモノニ決マッテ居ルトマデモ明言サレタト云フコトヲ聞イテ居ル、然ルニ運動ノ結果デアアルノカ、將タ輿論ヲ尊重ナシタノデアアルカ、本年ノ豫算ヲ見マスト其事ハ何等載ッテ居ラナイ、學制統一ト云フコトガ必要トスルナラバ何故ニ傳染病研究所ノミヲ移シテ水産講習所ニ及バヌカ、又何故ニ遞信省所管タル所ノ商船學校ニ及バナカッタカ、仲小路君ノ論鋒ヲ以テ言ヘバーハ是ニシテハ非ナリト云フ、何レカ是非ガ決マラナケレバナラヌ、前文部大臣ノ爲サレタコトガ可ナリトスルナラバ、現文相ノ高田君ノ爲サレタコトガ不可ナリト云ハネバナラヌ、丁度海軍大臣ト大藏大臣トノ不可ガドチラカニアルガ如ク、昨ガ是デアッテ今ガ非デアアルノカ、今ガ非デアッテ昨ガ是ナルノカ、昨是今非何レカデナケレバナラヌ、ト云フノハ當然ニ起ル問題デアリマシガ、之ニ付テハ如何ナル理由ニ依ッテ昨年マデ計畫セラレテ、現ニ世ニ發表サレタコトヲ御中止ニナッタカ、其内容ノコトハ別問題トシテ餘リ政府ニ一定ノ見解ガナイト云フコトヲ非難スル者モアル、併ナガラ私ハ是ハ別ニ政府ニ意見ガアルト思フガ故ニ、茲ニ敢テ御伺ヲ致ス次第デアリマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、傳染病研究所ハ學制統一ノ理由ノ下ニ、内務省ニ屬シテアッタモノヲ文部省ヘ移シタ、然ルニ水産講習所ハ一旦移スコトニナッテ居ッタノ之ヲ止メタ如クデアアルガ、ドウ云フ譯デアアルカト云フ御質問デゴザイマス、勿論學制統一ト云フコトハ大體ニ於テ最モ宜シイコトデアアルノデアリマスガ、併ナガラ又其事柄ニ依リ、又其時期ノ見計ヒモシナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ水産講習所ノ方ハ私就職シマシテ調査シテ見マシタ所ガ、此講習所其モノハ文部省ニ移スノデアアルガ、此實驗ノ機關ハ移スコトガ出來ヌ、新ニ文部省ハソレダケノ設備ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、デサウシテ見ルト學制統一ト云フコトニ付テハ其目的ヲ達シマスルガ、實際ノ不便モアリ、又行政整理ト云フ方カラ言ヒマスト目的モ達シラヌ、兎ニ角マダ其事ハ決定シテ居ッタノデアリナイノデアリマスカラ、マダ研究スベキ餘地ガアルト斯ウ考ヘマシテ、依然農商務省ノ下ニ置クコトニ致シマシテ、將來尙ホ研究ノ結果或ハ學制統一ノ目的ヲ達スル爲ニ文部省ニ移ス時ガアルカモ知レマセヌガ、ソレダケノ理由デアリマス、チヨット御答シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス

午後零時七分休憩

午後一時三十四分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日第一部ニ於テ請願委員ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果武石橋次君當選セリ

○議長(公爵徳川家達君) 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ陸軍大臣ニ説明ヲ請ヒマス、半バハ憲法ニ關スルコトデアリマス、本員ハ審ニ知ルヲ得マセヌガ、曩ニ聯合國ノ求ニ應ジテ陸軍ノ兵器ヲ賣却セラレタコトデアリマス、ソレハ大正三年度ニ於キマシテ數千萬圓ニナッテ居ルト云フ趣デ、詳シイコトハ存ジマセヌガ大正三年度ニ陸軍ノ兵器ノ賣却高ガ凡ソ三千五百萬圓ニ上ッテ居ルト云フコトデアリマス、大正四年度ニ於キマシテハ尙ホ是ヨリモ多イノデアリマスガ、是等ハ豫算ヲ

見マスノニ共三年度ニ於テ別ニ歳入ニ計上セラレテ居リマセヌガ、官有財産ノ賣却ト云フコトニナレバハ八歳入ニ繰入ルベキガ當然ノコトト思ヒマス、是ガ豫算ニ存在シテ見エザルハ如何ナル譯デアリマスカ、之ヲ第一ニ承リタインデアリマス、是ガ第一點デアリマス、第二ニ陸軍ノ所管ノ砲兵工廠ニ於キマシテハ、東京若クハ大阪ニ於キマシテ何處ヨリ致スカ存ジマセヌガ、資金ヲ受取ッテサウシテ新シク兵器ヲ製造スル、之ヲ以テ曩ニ賣却シタルモノヲ補填シテ行クヤウナ實況ノヤウニ承リマス、是ハ所謂物々交換ノ有様デ古キ……古イト申スカ賣却ニナッタモノニ對シテ新シキ兵器ヲ造ッテ補充シテ居ルト云フヤウナ實況ノヤウニ承リマスガ、即チ物々交換ノヤウナ有様ニナッテ居ルヤウデアリマス、抑、各官廳ガ資金ヲ有スルコトヲ得ザルト云フコトハ憲法ニ附帶イタシマシテ會計法ノ定ムル所ト思ヒマスガ、斯ノ如ク豫算ニモ見エズシテ居ルノニ各廳ガ資金ヲ受取ッテ勝手ニ作業ヲ致スノハ是ハドウ云フ法律ニ基イテ居ルノデアリマスカ、之ヲ第二點ニ伺ヒタイト思ヒマス、ソレモ僅ニ一時ノ誠ニ僅バカリ保管轉換ノ如キ物品ナラバソレノ理由モゴザイマセウガ、今度ノ如ク四千萬以上ニ互ル官有財産ノ處分ニ於キマシテハ入ルモノハ歳入トナリ、即チ豫算ニ編入セラレ、出ヅルモノハ兵器製造費トナッテ歳出ニ編入セラレルガ當然ノコトト存ジマスガ、是ガ昨年以來豫算ニ見エヌノハ如何ナ譯デアリマスカ、之ヲ第一ニ伺ヒタク存ジマス、第三ニ兵器ノ賣却、兵器ノ處分ト云フコトハ是ハ憲法ニ於テ定ムル軍ノ編制ニ屬スルコトト私ハ思ヒマス、憲法十二條ニハ軍ノ編制ハ大權ニ屬シテ居ル、軍ノ編制ナルモノハ獨リ人員ノミデアリマセヌ、軍ハ人ト物トヨリ成立ツコトハ論ヲ俟タヌ、其編制ノ基礎タル軍器ガ普通ノ修繕トカ普通ノ物品ノ轉換トカ云フニ止マラズシテ、斯ノ如ク大層ノ變動アル場合ハ即チ軍ノ編制ヲ變ヘルト云フコトデゴザイマスト認メマスガ、是等ニ付テハ如何様ナ御手續ヲセラルルカ、一體軍ノ編制ハ大權ニ屬スルコトデゴザイマスカラ是ハ陸軍大臣獨リ定メラルルコトデナカラウト存ジマスルガ、此三點ニ付キマシテ何分了解イタシマセヌデゴザイマス、御答ヲ願ヒタイ

〔國務大臣岡市之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡市之助君) 目賀田男ノ御質問ニ御答辯ヲ致シマスガ、砲兵工廠デ外國ニ賣リマシタモノハ、砲兵工廠デ自ら造ッテ賣リマシタモノモゴザイマスシ、或ハ造ッテアッタモノヲ賣ッタモノモゴザイマス、又陸軍大臣ガ動員計

畫上差支ナイト認メマシタ範圍ニ於テ與國ノ急需ニ應ズルガ爲ニ一時砲兵工廠ニ渡シマシテ、砲兵工廠デ相當ノ加工補修ヲ致シマシテ讓渡シタモノモゴザイマス、金高ノコトニ付テ唯今仰セガゴザイマシタガ、是ハ金額ハ多少相違イタシタ點モゴザイマス、此細カイコトハ他日細カク説明スルコトニ致シマス、要スルニ砲兵工廠ノ收入支出ハ特別會計法ニ依ッテヤッテ居リマスノデ、議會ノ協贊ヲ經マシタ以上ニ歳出ハ出來マセヌ、既ニ此大正四年度ニ於ケル實行豫算ニ於キマシテハ二千四百萬圓バカリデゴザイマシタガ、其後先頃ノ特別議會ニ於テ第一ノ追加ヲ要求シ、今日亦作業會計ノ收入支出ノ追加ヲ致シマシテ、大正四年度ハ四千六百萬圓バカリニナル勘定デアリマス、其收入及支出トモ議會デ協贊ヲ經テ居リマス豫算以外ハ會計法規ガ許シマセヌ、隨テ豫算外ノコトハヤッテ居リマセヌ、ソレカラ金ヲ受取ッテ云フ御話ガゴザイマシタガ、其豫算ノ範圍ニ於テ註文國カラ前金ヲ受取リマシテ、サウシテソレニ依ッテ品物ヲ製造シテ渡シマス、ソレハ作業會計ノ法規上差支ガナイト存ジテ居リマス、モウ一ツハ兵器ハ軍ノ編制ノ中ニ編入セラレテ居ルモノデアアル、隨ッテ陸軍大臣ノ獨斷ヲ以テヤリ得ルモノデナイト云フヤウナ御質問デゴザイマシタガ、細カク申シマスレバ無論、軍ヲ組織スルニ付テハ相當ノ兵器ヲ有タヌケレバ軍ノ組織ハ成立チマセヌ、此供給ヲスルノハ陸軍大臣ノ職責デアリマス、唯今申上ゲマシタ通りニ砲兵工廠ノ製造ガ與國ノ急需ニ應ズル上ニ付テ間ニ合ハヌ場合ニ於キマシテ陸軍大臣ノ保管スル兵器ニシテ動員計畫上差支ナイ程度ノモノハ一時融通イタシマス、融通ヲ致シマス上ニ付テ是ハ相當ノ加工補修ヲ要シマスノデ砲兵工廠ニ渡シマシタ、砲兵工廠ハ自分ガ製造シタモノト同様ナ性質ヲ以テ讓渡シマシタ、陸軍省自ラガ與國ニ賣却イタシマシタ次第デ、決シテ動員計畫上ニ於テハ私、職責上トシテ支障ノナイコトヲ斷言ヲ致シテ置キマス

○男爵目賀田種太郎君 チョット承リマスル所ダト云フト、砲兵工廠ノ直轄ノ作業ノ範圍ニ非ズシテ陸軍省ニ備付ケテアリマス即チ軍ノ編制ニ屬スルモノヲ賣却シタ、然ラバハ一般ノ歳入ニ編入セラルベキモノデハナイカ、又如何ナル部分ガ砲兵工廠ノ直接ノ歳入ニ編入セラルルカ、ソレガ審デゴザイマセヌ、實ハ今ノ御説明ハ十分了解イタシマセヌ、モウ少々伺ヒマス

○國務大臣(岡市之助君) 唯今申シマシタ通りニ陸軍大臣ノ保管スル兵器ニ

シテ動員計畫上支障ガナイト認メマシタモノヲ砲兵工廠ニ渡シマシテ、砲兵工廠ハ之ニ加工補修ヲ施シマシテ、自分ガ作ッタ同様ノ意味ニ於テ與國ニ賣渡シマシタ、サウシテ砲兵工廠ハ直チニソレニ對スル代用品ヲ陸軍大臣ニ納メマシタ
○男爵目賀田種太郎君 了解イタシマセヌガ、後ノ機會ヲ待テ更ニ審ニ伺ヒマス、本員ハ尙ホ引續イテ海軍大臣ノ御説明ヲ此席ニ於テ伺ヒマス、前刻來度ニ御説明デアリマシテ、御煩ハシウ存ジマスガ、要スルニ海軍大臣若クハ大藏大臣ハ大正五年ニ於テ將來ノ國防ニ對シテ最善ノ努力ヲセラルル、財源ハ其時定ムル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、ソレハ一通リ兩大臣ノ御意見ニ於テハ然ルベキコトカト存ジマスガ、私ハマダ了解イタシ兼ネマス、何トナレバ國防ノコトハ他ノコトト違フノデアリマス、申スマデモナイ、兩大臣ガ如何様ニ努力セラレヤウガ、如何様ニ財源ヲ發見スルニ努メラレヤウガ、國防ト云フコトハ是ハ一定不動デ、兩大臣ノ如何トモスベカラザルコトト、私ハ思量シマス、サルガ故ニ當貴族院ニ於テハ明治四十五年ニ時ノ内閣ニ質問ヲ致シテ時ノ内閣ハ必ズ四十五年以降此事ヲ行フ、斯ウ言ハレテ居ル、其行フト云フコトハ即チ八八艦隊ニアルノデアリマス、然ルニ今日ハ八八艦隊ト云フコトハ、是ハ唯前日來海軍大臣ノ説明ニ依リマス、加藤君一己ノ御想像デ、毫モ實際ニ於テハ成立シテ居ラス、而カモ當院ニ於テ目賀田ニ對シテハ八八ト仰セラレマシタガ、衆議院ニ於ケル御説明ニハ八四ニナツテ居ル、ソレニ付テハ別ニ私ハ論辯ハ致シマセヌガ、要スルニ八八艦隊ト云フコトハ以前ノ計畫デアアル、ソレヲ何時ノ間ニカ八四艦隊ニセラレタ、前キニ三十九年ニ計畫セラレタ八八艦隊ハ、其後貴族院ニ於テ質問シ、又政府ノ説明ヲ與ヘラレタノニモ常ニ八八艦隊、前キニ大正三年度ニ一億五千四百萬圓ノ提出モ又八八艦隊ニナツテ居ル、デ今日ハ唯希望ヲ以テ此豫算ヲ提出セラレテ居ル、大正五年度以下ノコトハ其時ニ定ムルト云フコトデアラナラバ、私ハ海軍大臣ノ説明ヲ得タイノデアリマスガ、何ガ故ニ其如ク財源ガ不確實デアツテ、海軍大臣ノ希望ハ唯御想像ニ止マル、若クハ大藏大臣ノ努力ニ止マルト云フノデアラナラバ、何ガ故ニ法律ノ命ズル所ニ從テ一年度限リニセラレヌカ、之ヲ伺ヒタイ、憲法六十八條ニハ、特別ノ必要ガアレバ繼續費ト爲スコトヲ得トアル、繼續費ト爲スコトヲ得ザル場合ニハ何ゼ一年度限リニナサレヌノデアアルカ、之ヲ伺ヒタイ、此豫算ハ一年限リデモナイ、形ハ繼續費デモナイ、一體斯ノ如キ豫算ノ提出ハ本員ニ於テハ最初ヨリ好マヌ、是ハ御承

知ノ如ク大正二年度ニ六百萬圓ノ提出以來、習ヲ爲シテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如キ豫算ノ提出ハ大體已ムヲ得ズ通過シ來ツテ居ル、實ハ國防ノ根源ヲ定メラレルナラバ……斯ノ如ク財源ガ不確實デアラナラバ何ゼ一年度ニ定メラレヌカ、ソレヲ伺ヒタイ、本員ノ海軍大臣ノ御説明ヲ得タイノハ、國防ノコトハ海軍大臣ノ努力、唯御見込ヲ以テ左右スルコトハ出來ヌト存ジマスルガ、萬ガ一來年度ニ於テ出來ヌ場合ハ如何セラレルカ、之ヲ第一ニ伺ヒタイ、第二點ハ何ガ故ニ繼續費トセラレタカ、斯ノ如キ不確實ナル財源ノ上ニ於テ何ゼ繼續費トセラレタカ、又第三ニ既ニ國防ハ八八艦隊デアリマシテ、實際八四艦隊ナル以上ハ、三十九年ノ計畫ニ對シテ之ガ變更ニ付テ必要ナル手續ヲセラレヌカ、ソレヲ第三ニ伺ヒタイノデアアル、前キニ本月八日ニ於キマシテ、海軍大臣ハ本員ニ對シテ、諮詢ヲ要スルノ必要ナシト信ズ、諮詢ハ海軍大臣ガセラレルノデアアルカ、ドウシテ必要ガナイト云フコトヲ海軍大臣ガ認メラレルノデアリマセウカ、此三點ヲ説明ヲ得タイ

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 目賀田男爵ノ質問ニ御答ヲ致シマス、色々御質問ノ要點ヲ御述ベニナリマシタガ、大體ニ於キマシテ衆議院デハ八四艦隊ト云フヤウナ風ニ説明シテ居ルト云フガ如キ御言葉ガアツタヤウデゴザイマスルカラ此點ニ付キマシテ先ツ考ヘテ居リマスル所ヲ申シマシテ、續イテ御質問ニ對スル御答ヲ致シタイト考ヘマス、衆議院ニ於キマシテモ八八艦隊ノ計畫ヲ八四艦隊ニ變更イタスト云フコトハ斷ジテ申シテ居リマセヌノデゴザイマス、矢張り國防ノ方針ト致シマシテ八八艦隊ナルモノガ根本ノ方針デアアル、是ガ實行方法ト致シテ直チニ此八八ナルモノハ豫算ノ形式ニ現ハスコトノ出來ナイノガ遺憾デアアル、即チ今回計畫ヲ致シテ、其一部分デハゴザイマスルガ、豫算ニ計上イタシマシタ大正五年度以降四箇年ニ互リマスル繼續費ハ、取りモ直サズ八八艦隊ニ進ムベキ前提デアアル、ト云フ風ナ意味ニ説明ヲ致シタト記憶シテ居ルノデアリマス、併ナガラ多クノ場合ハ實行イタサムトシツツアル所ノ八四艦隊ノ豫算ニ付キマシテ説明ヲ致シマシタ場合ガ多ウゴザイマシタ結果、唯今御疑問ノヤウナ御解釋ガ現ハレタノデハナイカト想像イタスノデゴザイマス、決シテ八八ナルモノヲ八四ニ改正イタシタト云フコトハ斷ジテゴザイマセヌ、ソコデ來年度若シ殘餘ノ計畫ヲ實行スルコトガ出來ナカッタ場合ニハドウスルカト云フ御質問デゴザイマスガ、私ハ必ズ之ヲ實行ス

ルト云フ決心ヲ有テ居リマスノデス、故ニ出來ナイ場合ノコトハ唯今ハ考ヘテ居リマセヌ、モウ一ツ最後ノ御質問ハ要領ヲ得マセヌデシタガ、ドウカ恐入りマスガ、モウ一度……

○男爵目賀田種太郎君 本員ノ伺ヒタイノハ、既ニ三十九年度ニ確定セラレタ計畫ハ八八艦隊、唯今八四艦隊ナルモノハ其前提デアルト云フ御説明デゴザイマス、其八八艦隊ノ計畫ト云フモノハ隨分長イ話デアアル、然ラバ八八ノ計畫ハ八四計畫ニ變セラレタト云フ御説明ハ長イ話デ、三十九年ニ於テ決メラレタ計畫ハ變タモノト言ハナケレバナラヌ、然ラバ三十九年ノ改正ハ相當ノ手續ヲ經テヤラレルノ必要ハナイカト云フ意味ヲ以テ本月八日ニ伺ッタノデアリマス、然ルニ海軍大臣ハ八八デアアルカラ元帥府ニ諮詢ノ要ナシト認ムト仰セラレタ、元帥府ノ諮詢ハ海軍大臣ガセラレルノデアアルカ、速記録ニハ諮詢ノ要ナシト信ズトアル、ソレハ貴官ガ認メラレルノカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(加藤友三郎君) 了解シマシタ、私ハ前回目賀田男爵ノ御質問ニ、唯今仰セノ如キ言葉ヲ遣ヒマシタナラバ是ハ私ノ誤デアリマス、此段謝シマス、而シテ此御質問ハ無論海軍大臣ガ致スノデハナイノデゴザイマシテ、其手續ヲ履ム必要ヲ認メナイト申シタ積リデゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 實際八八艦隊ノ計畫ハ數年ヲ經ザレバ出來ヌコトデアリマス、之ニ對シテ業ニ已ニ三十九年ニ確定セラレタコトニ對シテ、海軍大臣ガ之ヲ擅ニ諮詢ノ要ナシト認メラレルト云フコトハ、私マダ分リマセヌ、今一應伺ヒマス

○國務大臣(加藤友三郎君) 御質問ノ要領ヲ能ク了解イタシマセヌガ、目賀田男爵ハ、此補充問題ニ付キマシテハ我々ノ苦衷ヲ御察シ下サイマシテ、十二分ノ御同情ヲ御有サ下サルモノト考ヘルノデアリマス、如何ニモ男爵ノ仰セノ如ク、目的ヲ早く達シタイト云フ希望ハ十二分ニ有テ居リマスノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ皆サンノ御同情ヲ得ナクテハナラヌト云フコトモ了解イタシテ居リマス、而シテ八八ナルモノガ三十九年ニ決定ヲサレテ、今日ニ至ルマデモ其端緒ニ就カナイ、恰モ八四ニ變更シタカノ如クニ見エラノデアアルガ、斯ウ長クナルナラバ此儘抛ッテ置イテハイカスデハナイカト云フヤウナ御質問ト拜聽イタシマシタノデゴザイマスガ、是ハ即チ八八ニ至リマスル途中ニ在ルノデゴザイマス、隨ッテ手續ト云フ問題ニナリマシテハ、唯今當局ト致シマシテ、別ニ斯ノ如キ手續ヲ取ル必要ガアルト云フガ如キコト

ハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス

○男爵田健治郎君 私ハ内閣總理大臣ニ對シテ、減債基金ノ復舊ニ關シマシテ、内閣ガ貴族院ノ院議ヲ如何ニモ一顧ノ値モナイモノノ如クニ今日マデ遇セラレタ點ニ向ッテ確ト總理大臣ニ質シタイト存ジマシタノデアリマスルガ、先刻總理大臣ハ御病氣デ御退席ニナルト云フノ御通知ニ接シマシタ、スレバ是ハ總理大臣ノ御出席ヲ待タナクテハ、是ハ大藏大臣……此更ッタ大藏大臣ニ御尋シテモ分ラヌコトデアリマスカラ、私ハ今日ハ質問ヲ見合ハセマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ五六ノ質問ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ其中ノ或ル部分ニ付キマシテハ既ニ午前ヨリ議員諸君ヨリ御質問ガ出マシテ、ソレニ付テ御答辯モゴザイマシタ、尙ホソレニ續キマシテ二三伺ヒタイコトモゴザイマスガ、ソレハ他日ニ譲リマシテ、午前ヨリ質問ノ出マセヌ點ニ付テ三點伺ヒタイト思ヒマス、御承知ノ如ク此前ノ特別議會ニ於キマシテ、貴族院ハ一ノ建議案ヲ通過シタノデアリマス、其通過ノ建議案ハ無論政府ノ御了承ノコトト考ヘマス、申スマデモナク此歐洲動亂ノ場合ニ際シマシテ、殊ニ各國ノ財政經濟並ニ社會上ノ狀態ニ付テ調査シテ貫ヒタイ、其趣意ハ其時説明モ致シマシタガ、今日ノ政府ノ諸官廳ノ仕事トシテ、隨分此點ニ付テノ御調査モアルヤウデアリマス、併ナガラソレハ殆ド平時ノ事柄ト餘リ異ラヌヤウデアアル、願ハクハモウ一步進メタ此動亂ノ場合ニ殊ニ適シタル所ノ相當ナル處置ヲシテ戴キタイ、是ガ政府ニ於テ缺ケテ居ルヤウデアアルカラ、願ハクハ此點ニ付テ調査機關ヲ置クナリ、或ハ相當ノ手續ヲシテ戴キタイト云フコトデアリマシタ、尙ホソレニ付テ具體的ノ事柄ノ二三ノコトニ付テ、私ハ建議者トシテ説明シマシタ、併ナガラ其建議案ニ付テ如何ニ御考ヘニナッタノデアリマスカ、時ノ大藏大臣若槻君ハ説明サレテ、成程建議ノ趣旨ハ了承シタガ、政府ニ於テモ此點ニ付テハ調査シテ居ルカラ、別ニ建議案ノ如キサウ云フ機關ヲ置クニ及バヌ、併ナガラ其趣意ハ了承シテ置クト云フコトデアリマシタ、ソレデ私ハソレニ付テ尙ホ詳細ノコトヲ申上ゲテ、政府ノ注意ヲ促シテ置イタノデアリマス、ソレデ此度ノ豫算ヲ見マスルニ、何カ其建議案ニ對シテ相當ノ御處置ガアッタカト思ッテ、各省ノ項目ニ付テ大體調べテ見マシタガ、此度遲延ニ出タ所ノ瑞西ニ公使館ヲ置クト云フコトノ外ニ、殊更ニ事立ッタコトモナイヤウデアアル、果シテ私ノ見タ通りデアリマスレバ、政府ハ此場合ニ於テ外務當局者ガ設置セムトスル瑞西ニ公使館ヲ置ク外ニハ適宜ノ處置ヲナサラヌノデアアルカ、或ハ追加豫算

ヲ以テ、例ハ英國ニ財務官ヲ置クガ如キ特殊ノ人ヲ特殊ノ場所ニ置クト云フヤウナコトハ爲サスノデアリマスルカ、其事ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二點ハ總理大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、此場合大藏大臣デモ宜シウゴザイマス、第一ノ質問ノ項目ニ付テハ、私ハ外務大臣、農商務大臣、大藏大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、第二ノ點ト申シマスルノハ、此行政整理ト申スコトハ、最早政府ニ於テハ全部ナサレタノデアリマスカ、或ハマダ將來或ハ現時ニ於キマシテモ著々ト行政整理ヲマダ爲サレル途ガアリマスノデアアルヤ否ヤ、私ハ此點ニ付テ一例ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、是マデノ行政竝ニ財政ノ整理等ヲナサレマシタ場合ノ事實ヲ見マスルト、相當ノ御整理モゴザイマシタガ、私ハ

一點茲ニ行政整理ノ及ンデ居ラヌト云フコトノ疑點ヲ持ッテ居リマス、其疑點ハ官舎デアリマス、官舎ト云フモノハ中ニ全國ニ多イ、各省ニ互リ、各府縣ニ互リ、殖民地ニ互リ、澤山官舎ガゴザイマス、官舎ト云フモノハ政府ハドウ見テ居ラレマスカ、官舎ニ付テハ少シモ整理ヲナサラヌノデアリマスカ、私共少シノ時間ヲ以テ調べテ見タ所ニ依リマシテモ、隨分官舎ノ中ニハ不用ナノモアリマセウト思ヒマス、又必要ヲ感ジテ居ルノモアリマスガ、テンデ御整理ハナイヤウデアリマス、此官舎ノ整理ト云フコトハ、ドウ云フ風ニ御考ヘデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、私ハ尙ホ之ニ付テ願ッテ置キマスガ、是ハ今日答辯ハ求メマセヌガ、願ハクバ此議會中ニ此官舎竝ニ官舎ニ關スル土地家屋ト云フヤウナモノノ評價ヲ付ケタモノヲ得タイノデアリマスガ、私モ出來得ルダケノ調査ハシマシタガ、其材料ハ餘程古イモノガ一ツ、ソレカラ朝鮮總督府ニ關スルモノヲ一ツ持ッテ居リマスダケデ、誠ニ私モ材料ガ不備デアリマスカラ

…要スルニ官舎ニ關スル行政整理ガ行ハレテ居ラヌト思ヒマスガ、此點ニ付テハ從前ノ儘デ更ニ整理セヌト云フノデアアルカ、スルト云フノデアアルカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第三ニ伺ヒタイノハ極ク僅ナコトデアリマスガ、内務省ノ歳出臨時部ノ中ニ保健衛生調査及衛生事業獎勵費ト云フモノガ始メテ出テ居リマス、是ハ二萬圓デアリマス、僅ナ金額デアリマスガ、併シ是ハ一方ニ於テ日本ノ動態統計ノ或ル一部ヲ研究スル行爲ニ外ナラヌノデアリマス、斯ノ如キ所ノ有益ナル調査、殊ニ人口動態ニ關スル調査ヲ一方ニ於テ御厲行ナサルニ拘ラズ、ソレ等ニ比シテ一體ノソレ等ノ調査ノ根本ニナル所ノ、日本

ノ國勢調査ヲナサラスノハドウ云フ譯デアアルカ、根本ノ國勢調査ヲナサズシテ斯ノ如キ動態ノ調査ヲナシタ所ガ、ソレハ甚ダ意味ノナイコトニナリハセ

ヌカト思フ、動態ノ調査モ無論必要デハアルガ、是ハ靜態ノ國勢調査ヲシテカラデナケレバ完全ノ調査ハ出來ナイト思ヒマス、此調査ヲナサルノハ誠ニ結構デアリマスガ、根本ノ靜態ノ調査ハドウデアリマスカ、是ハ嘗テ閣僚諸君ノ中ニハ國勢調査準備委員會ニ於テ警咳ニ接シマシテ總テノコトノ御意見ヲ伺ッタコトモアリマスガ、何卒之ニ付テ相當ノ御答辯ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(武富時敏君) 柳澤伯爵ノ御質問ニ御答シマス、貴族院ノ建議ノ趣意ハ政府ニ於テモ勿論尊重ヲ致シマシテ、ソレノ計畫ヲ致シテ居リマス、殊ニ戰亂ニ關シテ歐洲ノ財政經濟ノ状態ヲ調査スルコトニ付キマシテハ、特ニ先般來官吏ヲ派遣シテ其調査ニ從事サシテ居リマス、御承知ノ通りニ平常ハ財務官ト云フモノガ倫敦ニ駐在イタシテ居リマシテ、絶エズ怠ラズ財政經濟ノ状態ヲ調査イタシマシテ報告ヲ致シテ居リマス、併シ此度ハ未曾有ノ戰亂デ、各國ノ經濟財政ノ状態ハ未曾有ノ變化ヲ受ケルノデゴザイマスカラ、特ニ官吏ヲ派遣シテ其調査ニ從事スルコトニナッテ居リマス、追々ト此調査報告ヲ待チマシテ政府ハソレノ意ヲ計畫ヲ立テ積リテ居リマス、ソレカラ行政整理ノコトニ付テノ御質問デゴザイマスルガ、御承知ノ通り先年度ニ此行政整理ト云フコトハ繰返サレテ居リマス、最早今日ノ所デハ先年來繰返サレタヤウナ行政整理ヲ再ビスルト云フ餘地ハナイト政府ハ認メテ居リマス、併ナガラ成ルベク冗費ヲ節シ事務ノ簡捷ヲ計リ政務ノ統一ヲ期スルト云フコトニハ、勿論怠ラズ調査ヲ進メテ居リマス、又唯今御説ノゴザリマシタ官舎等ノコトニ付テモソレノ調査ヲ進メルコトニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ國勢調査ノコトニ付テ御尋デゴザイマシタガ、何分目下ノ時局ニ際シマシテ、政府ノ歳入状態ハ極メテ不良デゴザイマスルカラ、新ニ仕事ヲ始メルト云フコトハ誠ニ困難デゴザイマス、ソレ故ニ差措キ難イト思ヒナガラモ豫算ニ計上スルコトガ出來ナイヤウナコトガ多々ゴザリマス、矢張り「センサス」ノ如キモ其中ノ一ツデアルト思フノデアリマス、併シ此國勢調査ト云フモノハ申ス迄モナク時期ガアルノデゴザイマシテ、各國同一ノ時期ニ此國勢調査ヲシタ方ガ相當ト思フノデゴザイマス、サスレバ今年カラ其準備ヲナサナクテモ未ダ遅レル譯デハナカラウト思フノデアリマス、併シ尙ホ其邊ハ十分ニ考慮イタシマシテ此事業ノ爲ニハ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 本員ノ質問ニ對シマシテ大藏大臣ノ外農商務大臣竝ニ外

貴族院議事速記録第五號 大正四年十二月二十七日 豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

六九

務大臣ヨリ伺ヒタイト考ヘテ居リマスルガ、御答辯者ノ便利ノ爲ニ私ハ是ダケノコトヲ申シテ置カウト思ヒマス、ソレハ唯今ノ大藏大臣ノ御言葉ニ依リマスルト、私ノ第一ノ質問ニ對シテハ、相當ノ人ヲ出シテ相當ノ處置ヲ執ツテ居ルト云フコトデアリマシタ、併ナガラソレハ私共ノ承知シテ居リマス所デハ如何ニモ微々タルモノデアツテ、到底昨年ノ特別議會ノ建議案ノ趣旨ヲ貫ク程ノモノトモ思ヒマセヌ、併ナガラソレハ先ヅ具體的ノコトハ承知シテ居リマセヌカラ、私ハ今日此所デ御返事ヲ求メマセヌ、更ニ政府ニ於テハ大藏省、外務省竝ニ農商務省邊ト御協議ヲ遂ゲラレマシテ、斯様ナ所ノ調査ヲ昨年ノ建議案ニ對シテ、シテ居ルト云フヤウナコトヲ一ツ文書ヲ以テ他日御答辯ニ代ヘラレマシテ、安心ノ爲ニ私共ニ御配付アラムコトヲ希望シテ置キマス、ソレガ出來マスレバ今日更ニ農商務大臣竝ニ外務大臣ノ御答辯ハ要ラヌノデアリマス、ソレカラ官舎ニ付テ申述ベマシタ所ガ、唯今ノ御答辯ニ依リマスルト現今デハ御調査ガナイヤウニ承知シテ居リマス、是モ追々調査シテ整理スベキモノハ整理スルト云フ御話デアリマシタガ、之ニ付テハ先程モ請求イタシマシタ通り何トゾ全國ニ於ケル官舎ニ對スル數量的材料ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、ソレカラ第三ノ點ニ付キマシテ、大藏大臣ハ國勢調査ハ各國同一ノ時期ニスル方ガ宜カラウ、サスレバ何モ急ニナスニハ及バヌト云フコトデアリマシタ、成ルホド各國デハ現ニ今年ノ如キハ或國デハアル筈デアツタノデアリマスガ、是ハ戰亂ノ爲ニゴザイマセヌ、兎ニ角五或ハ零デ終ル年デアアルコトハ承知シテ居リマス、併ナガラ本邦ハ未ダ一回モナイノデゴザイマス、一回モナイ國ガソレヲ實行セムトスレバ、各國ノ例ニ倣ツテ五或ハ零ヲ以テ終ル年ヲ待ツ必要ハナイ、一日モ早クナサレムコトヲ希望スルノデゴザイマスカラ、假ニ政府ニ於キマシテ差措キ難イ所ノ御事情ガアツテ延バサナケレバナラヌト云フコトガゴザイマシテモ、是ハ必シモ各國ノ例ニ准ズルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト考ヘテ居リマス、若シ左様ナ御考ヘデゴザイマスレバ、初メテヤル所ノ調査デアリマスカラ、斯ウ云フコトヲ實行サレル場合ニ於キマシテハ御考慮アルコトハ、甚ダ事業ノ進行上妨害ト考ヘマス、是ハ改メテ御忠告ヲ申シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 澤柳政太郎君

○澤柳政太郎君 本員ハ豫算全體ニ關シマシテ第一ニ總理大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマシタガ、御退席ニナツタト云フコトデアリマスルカラ、ソレハ他

日ニ保留イタシマシテ、海軍補充費ニ付テ尙ホ今マデ御質問ノナカッタ點ニ付テ私ノ了解イタシ兼ネル所ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、本年ノ豫算ニ於キマシテハ殆ド新ナル事業ハ計上セラレズシテ、唯一ツノ海軍ノ補充費ト云フモノガ計上サレタト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、從ツテ此問題ニ關シマシテハ、衆議院ニ於テ色々ノ質問ガ出マシテ、之ニ對シテ加藤海軍大臣ノ誠ニ明晰ナ懇篤ナル御辯解、御説明ガアリマシテ、本員ハ篤ト之ヲ速記録ニ依ツテ拜見ヲ致シタノデアリマス、而シテ八八艦隊ノ因ツテ起ル所以モ本年ニ至リマシテ誠ニ明確ニ海軍大臣ヨリ承ルコトヲ得マシタノハ我々ノ甚ダ幸ヒト致ス所デアアルノデアリマス、而シテ八八艦隊ノ成ル所以ハ、衆議院ニ於テ御説明ニナツタ所ニ依リマスルト云フト、主トシテ戰術上ノ見地ヨリシテ、優勢ナル戰艦八艘、又優勢ナル巡洋戰艦八隻ヲ以テ主力トスルト云フ御説明ガアリマシテ、誠ニ私モ御尤ノコトト傾聽イタシタ次第デアリマス、併ナガラ國防トシテ考ヘマスレバ、日本ノ國防ハ決シテ唯艦隊ヲ操縦スル所ノ戰術ノミヨリシテ割出サルベキモノデナクシテ、必ズ列國ノ大勢、列國軍備ノ形勢ニ對シテ計畫セラレタル所デアラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テノ質問ガ下院ニ於テナカッタ爲デアリマスルカ、御説明ガアリマセナダガ、必ズ他ノ列國ノ軍備ノ狀態ニ鑑ミテ計畫セラレタルモノト思フノデアリマスルガ、其據ル所ヲ承リタイト思フノデアリマス、第二ニハ必ズ相當ノ……唯今ノ第一ニ御尋イタシマシタ相當ノ理由ヲ根據トシテ此國防ノ海軍ノ計畫ヲ立テラレタモノト思ヒマスルガ、而シテ此計畫ハ明カニ三十九年度ニ於テソレノ手續ヲ經テ既ニ確定セラレタト云フコトデアアルノデアリマス、三十九年度ニ當局者ガ世界ノ形勢ヨリ打算シテ立テラレタル八八艦隊ノ程度ハ、殆ド十年ヲ經過イタシテ居リマスル今日ニ於テ、又現當局者ガ完成セムトセラレル所ノ年限ハ大正十二年デアアルト云フコトデアリマスルガ、十二年ニナリマシテモ尙ホ其當時ノ形勢ニ依ツテ策定セラレタル所ノ此海軍ノ隻數ヲ以テ十分トセラレル次第デアリマセウカ、想フニ三十九年以後各國ニ於テ海軍ノ擴張ヲ圖ツタ致シテ居ルト云フコトデアリマスルガ、日本ノ國防ハ唯戰術上、艦隊ノ操縦上ノ見地ノミヨリ計畫セラレルノデアツテ、ソレ等ノコトニハ頓著セヌト云フモノデアリマセウカ、是ハ今日ヨリ十年前ニ策定セラレタル海軍ノ計畫ヲ以テ、今日尙ホ其遂行ニ向ツテ最善ノ努力ヲ盡サレルト云フコトヲ以テ我々國民ハ安心

ヲシテ居ルコトが出来ルカ、誠ニ自分ニハ了解ガ仕兼ネルノデアリマス、三十九年度ニ於テ其計畫ヲ必要トシタナラバ、形勢ノ變化シタ今日ニ於テハ二箇ノ八四艦隊ナリ八八艦隊ヲ必要トスルト云フヤウナ形勢デハナイデアラウカト思フノデアリマス、或ハソレハ當局者トシテハ最モ望ム次第デアルガ、財政ノ點ヲ顧慮スレバ誠ニ己ムコトヲ得ヌト云フヤウナ御答辯デアリマセウガ、如何ナル時代ニ於テモ國防計畫ヲ立テルニ財政ノ關係ヲ顧慮セズシテ立テラルルト云フコトハナイデアリマス、先刻モ水野君カラ御話ノアリマシタ通り、此軍備ノ如キ誠ニ多額ノ國費ヲ要スルモノデアリマスカラ、絶對必要ナ限度ニ於テ計畫セラルベキモノデアラウト思フノデアリマス、兎ニ角三十九年度ノ計畫ガ大正十二年度ニ至ッテ完成スルト云ッテ、ソレデ先ヅ計畫ガ立ッタセララルル點ニ於テ本員ハ甚ダ了解ニ苦シム次第デアリマス、尙ホ此三十九年度ニ確定セラレタト云フコトヲ明言サレテ居リマスガ、而シテ四十年度ヨリ大正四年度マデ海軍ノ臨時費ト云フモノハ約四億五千萬圓支出イタシテ居ルノデゴザイマス、而シテ其中ニ於テ軍艦ノ製造費ト云フモノハ三億二千萬圓ニ殆ド垂ント致シテ居ルノデアリマス、若シ三十九年度ニ於テ八八艦隊ト云フモノガ國防ノ方針トシテ決定サレテ居ルモノデアラナラバ、其以後假令是ガ八八艦隊ノ一部ダト云フコトヲ明言サレヌマデモ、當局者トシテ即チ完成ニ向ッテ著々歩ヲ進メテ居ラナケレバナラナカッタト思フノデアリマス、而シテ今議會ニ於テ總軍事費四億四千萬ノ其中軍艦製造費三億二千萬ニ垂ントスル金額ヲ本年マデ支出スル筈ニナッテ居ル、而シテ其中ニ於テドレダケ八四艦隊ニ屬スベキ艦體ガ、戰艦ナリ巡洋戰艦ガ既ニ製造サレ、或ハ建築サレツツアルカト云フコトヲ是モ御伺ヲ致シタイノデアリマス、恐ラク四隻位ニ過ギナイデアラウト思フノデアリマス、而シテソレニ要シタル所ノ金額ハ是亦私ノ伺ハムトスル所デアリマスガ、大體推測スル所ニ據ルト一億一二千萬圓ヲ超エヌ次第デアラウト思フノデアリマス、即チ四十年以後八八艦隊ノ方針ガ決定シテ居ルニモ拘ラズ、八八艦隊完成ノ爲ニ今日マデ支出シタ金額ハ一億圓ソコソコ、之ニ二億圓ノ軍艦製造費ト云フモノガ支出サレテ居リマスルガ、ソレハ如何ナルモノデアルカ、ドウモ其點ニ付テ其二億圓ハ：過去九年間ニ於ケル二億圓ノ金額ト云フモノハ八四艦隊以外、如何ナル必要ナル軍艦製造ノ爲ニ使用サレタモノデアリマスガ、其邊ニ付テ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、第四ニハ八四艦隊トカ、或ハ八八艦隊ト云フモノハ本年ニ至ッテ始メ

テ本員ハ承ルコトト記憶イタシテ居リマスガ、或ハ昨年ノ幕位カラシテサウ云フ名前ガ現ハレテ來タカト思フノデアリマスルガ、從來ハ此海軍ノ補充費ヲ要求サルル時ニ、或ハ戰艦ガ三隻デアアル、或、驅逐艦ガ十隻デアアルト云フヤウナコトニシテ是ハ要求サレテ居ッタノデアリマス、今日ニ至ッテ八四艦隊、或ハ八八艦隊ト云フコトガ出テ來タノハドウ云フ譯デアアル、是ハ或ハ誠ニ此軍事上ノ祕密デアッテ其一部分ヲ當局者ガ其積リヲ以テ實行シテ居ルノデアアル、是ガ世間ニ現ハレテハ大ニ日本ノ軍備ノ必要カラ祕密ヲ暴露スルモノデアアルナラバデアリマスガ、本員ノ了解スル所ハ海軍大臣ノ御説明ニナル所ニ據ルト云フト、日露戰役ノ經驗ニ鑑ミテ八八艦隊ニ編成セラレタト云フモノハ強チ是ハ祕密ヲ要スルモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ從來ノコトヲ御聽スルヤウデアリマスルガ、海軍大臣：現任海軍大臣ハ過去長イ間海軍次官トシテモ御盡瘁ニナッタコトデアリマスカラ、其邊ニ：何故ニ斯ノ如ク最初カラシテ斯ウ云フ計畫デアアルト云フコトヲ示サズシテ僅ニ今年ニ至リ、殊ニ本議會ニ至ッテ此事ヲ明言セラルルヤウニナッタノデアリマスルカ、此點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ第五ニハ從來ハ：今日ニ於テモ豫算ノ上ニ於テハ海軍補充費ト云フ名稱ニナッテ居ルノデアリマス、サウシテ此議會ニ於テモ、イヤ補充ニ非ズシテ擴張デハナイカト云フ議論モ出マシタガ、海軍當局者ハ極力イヤ決シテ擴張デハナイ、新ニ擴張スルト云フ譯デアナイ、現在ノ海軍力ヲ補充スルノデアアルト云フ話デアッタノデアリマス、併ナガラ八四艦隊ニシテ尙ホ海軍大臣ノ御希望ノ如クニ此後先ヅ二億五千萬ノ豫算ガ遂行セラルルニ至リマシテモ、十二年待タナケレバ八四艦隊ハ完成イタサナイト云フコトデアッタナラバ、現在ノ艦隊ハ是ハドウ云フ御編成デアリマスルカ、第一艦隊、第二艦隊、第三艦隊ト云フヤウナ工合ニ現在ナッテ居リマスルガ、是ハ今日ノ八四艦隊ト云フヤウナ言葉ニ直シテ見マシタナラバ或ハソレガ六六艦隊ニナルカ、六四艦隊カニナルノデアラウト思ヒマス、海軍大臣ガ衆議院ノ分科會ニ於テノ御説明ニ依リマシテモ日露戰爭ノ當時ニハ六六艦隊ノ編成デアッタト云フコトデアリマスルガ、現在ノ日本ノ海軍ハ更ニ此編成ヲ今日ノ八八艦隊ト云フヤウナ編成ニ直シテ見タナラバ今日ノ八四艦隊ニハ無論ナッテ居ラヌ、八二艦隊デアリマスカ、六四艦隊カデアッタラウト思ヒマス、而シテ當局者ハ之ヲ八四艦隊ニ漸次イタサウト云フノデ此豫算ヲ一部ニ要求サレテ居ッタコトデアリマスレバ、是ハ決シテ補充デハナイ、補充

ト云フ正當ノ意味ハ從來アル所ノ勢力ガ減損スル其勢力ヲ填メテ行クト云フノデナクシテ、確カニ擴張デアラウト思フノデアリマス、今日ハ擴張トカ補充トカ云フコトニ付テエライ問題ハ出テ居リマセヌガ、私ハ擴張デモ宜イデハナイカト思ヒマスルガ、何故ニ補充トカ擴張トカ云ハレルノデアルカ、又確カニ今日ニナッテ見レバ擴張ニ相違ナイ、何故カナレバ其當時ニ於テハ八四艦隊トカ八八艦隊ガ理想デアルト云フコトヲ示サレナカッタノデアリマスカラ、從來ノ力ヲ補充スルノデアルト御説明ニナレバ成ルホド補充デアッタト云フヤウニ我々ハ考ヘテ居ッタ、併ナガラ方針トシテ既ニ八八艦隊ガ確定サレテ居ル、而シテ僅ナガラソレニ向ッテ歩ヲ進メテ居ラレタナラバソレハ確カニ擴張ト申スモノデハナイデアアラウカト思ヒマス、斯ノ如キコトヲ此第四、第五御尋ヲスルノハ此議會ニ於テ海軍大臣ノ御説明ニ依ルト八四艦隊ト云フコトハ三十九年ニ確定シタコトデアルト云フヤウニ承リマシタガ、或ハ從來ノ戰艦三艘、巡洋艦一隻トカ云フヤウナ豫算ニサレテ要求ノ形式又擴張トサレズ飽クマデ補充ト云フヤウナコトデ擴張トサレヌ所ニ依ッテ見マサルト云フト、ドウモ此八四艦隊ト云フモノガ根柢ノアルモノデハナイ、矢張り時勢ニ依ッテ段々ニ研究ノ結果是ガ今日ニ於テ……三十九年度デハナイ、今日ニ於テハ八四艦隊ヲ最小限度ノ海軍力トスルト云フヤウニ御考ヘニナッタノデハナカラウカト甚ダ失禮デアリマスガ邪推ガ起ラザルヲ得ヌノデアリマス、ソレカラ最後ニハ衆議院ニ於テモ出マシタガ、此歐羅巴ノ大戰爭ノ結果艦隊ノ編成、軍艦ノ大小等ニ付テ大ナル變化ガ起ルコトハナイデアラウカ、或ハ若シ其憂ガアルナラバ戰局ノ收メ後ヲ俟ッテ徐ロニ此計畫ヲ始メテ宜クハナイカト云フヤウナ疑ニ對シテ、海軍大臣ハ是亦縷々懇篤ニ今日迄ノ海戰ノ結果ニ依ッテ見レバ僅ニ潜水艇ノ如キハ奇襲ヲスルニ付テ少イ主力ヲ馳ッテ大キナ主力艦隊ト雄雄ヲ決スルノデナケレバナラヌト云フヤウナ御答デアアルヤウデアアル、而シテ今後歐羅巴ニ於テ大海戰ガ起ルデアラウカ、起ラヌデアラウカト云フ質問ニ對シテ、海軍大臣ハ一己トシテ又其向キノモノノ研究トシテ多分起ラヌデアラウト云フヤウナ御説明ガアッタノデアリマス、今日迄ノ各國ノ軍艦ノ補充ノ計畫ハ矢張り此大艦主義デアッタラウト思フノデアリマス、補助ノ艦艇トシテ或ハ潜水艇ヲ造ルトカ驅逐艇ヲ造ルトカ云フヤウナコトハアリマシタラウガ、是ニ全力ヲ注グト云フコトハナカッタノデアアル、ソレ故ニ今日獨逸ガ潜水艇ヲ以テ奇襲ヲ屢々行ッテ餘程奇捷ヲシテ居リマス

ガ、併ナガラ之ニ依ッテ將來艦隊ノ艦船ノ大小ヲ變更セヌト云フコトハ斷定サレルコトハ如何デアリマセウカ、例ヘバ獨逸ガ今日三四十艘ノ潜水艇ヲ既ニ所有シテ居ッタナラバ、或ハ英國ノ主力艦隊ノ根據地ニ向ッテ突入シ來ッテ往々奇捷ヲ制シタト云フコトガアリ得ルカ知レヌノデアリマス、併ナガラ所謂潜水艇ナルモノニ餘リ重キヲ置カナカッタカラ急拵ヘニ一艘ヤ二艘造ルト致シマシテモ四五十隻ヲ造ルコトガ出來ヌノデ如何トモスルコトガ出來ヌト云フ結果デナイカト思フ、又英吉利ハアレダケノ大艦隊力ヲ持ッテ居ル、之ニ加フルニ微弱ナリト雖モ露國ノ艦隊ヲ以テシ、又佛蘭西ノ艦隊ヲ以テ致シマシタナラバ、獨逸ノ艦隊ニ對シテ非常ニ優勢デアアルニ拘ラズ、唯ジツト根據地ニ引込シテ居ルヨリ仕方ガナイ、而シテ海軍大臣ノ御話ノ如ク今後トモ海上ニ於テ大決戰ガナイト云フコトハ是ハ從來大艦隊主義ト云フモノヲ以テシテ、例ヘバ獨逸ニ對シテ一六ノ勢力ヲ占メテ居ッテモ手ヲ出セナイト云フコトヲ證明スルモノデハナイノデアリマセウカ、兎ニ角今日ノ戰爭ガ……戰後ニ於テ或ハ各國艦隊ノ軍艦ニ重キヲ置ク所ハ大艦ニアラズシテ潛航艇ノ如キ或ハ他ノ補助艦ニ重キヲ置クト云フヤウニ斷定セラレタルコトヲ私ハ衆議院ノ速記録ヲ篤ト拜見イタシマシタガ、洵ニ了解シ兼ネルノデ其疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、願ハクハ懇篤ニ御説明アラムコトヲ御願ヒ致シマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、或ハ御質問ノ順序ヲ誤リマシテ混ジテ御答ヲ致スカモ知レマセヌデゴザイマス、是ハ若シ拔ケマシタ所ガゴザイマシタナラバ後トデ御注意ヲ願ヒマス、此八八艦隊ヲ決定シタ理由ハ戰術上ノ見地ヨリシタト云フコトデアアルガ、列國トノ關係ニ於テハ何モ考ヘナカッタカ、ドウカ、斯ウ云フノガ第一ノ御質問デゴザイマス、無論列國ノ海軍ノ現狀ニ付キマシテハ十分ニ調査ヲ致シマシテ之ヲ考慮ノ上加ヘテ、而シテ尙ホ其上ニ戰術上ノ見地ヨリ算定シマシタト御答スルヨリ外ハナイノデアリマス、無論他列國ガ優勢ノ艦隊ヲ持ッテ居リマセヌケレバ我が海軍ニ於キマシテモ優勢ナル艦隊ヲ持ツ必要ハナイノデアリマスガ、併ナガラ他列國ノ海軍ニ比シマシテ之ニ追ッ付イテ行クト云フダケノ艦隊ヲ備ヘルニ付キマシテハ我が國力ガ許スマイカト考ヘマス、要スルニ國力ノ許シマスルト認メマスル場合ニ於キマシテ又列國ノ海軍ヲ擴張イタシマス關係ヲ考慮ニ加ヘマシテ、而シテ戰術上ノ見地ヨリ割出シマシタモノデゴザイマス、ソレカ

ラ順序ハ違ヒマスガ、之ヲ八八ナルモノヲ明言スルニ至ラタ理由ヲ御質問ガゴ
ザイマシタ、之ヲ便宜上先キニ御答イタシマス、八八艦隊ナルモノガ決セラレ
マシタノハ三十九年カラ四十年ニ掛ケテ種々ナル手續ヲ踏ンデ決定サレタト
考ヘマス、ソレデ此八八ト云フコトハ當時ハ艦隊ノ編成ニ屬スル問題デア
カラ之ヲ極秘ニスルト云フコトニ決定イタシテ居ッタノデアリマス、故ニ四十
年以後再々補充費ノ問題ニ於キマシテ製艦費ヲ要求セラレマスル場合ニモ、
當時ノ大臣ガ此八八ナルモノヲ明言ハ致サレナカッタト記憶イタシマス、而
シテ何故ニ斯ウ云フ艦ヲ造ルノカト云フ御質問ニ對シマシテハ何時デモ編成
上ヨリ割出シタモノデアルト云フヤウナ意味ノ答辯ガアッタト記憶イタス
デゴザイマス、是ハ誠ニ苦シイ答辯デハゴザイマスケレドモ、唯今申上ゲマ
スル通り八八ナル數ヲ公言イタスコトヲ憚リマシタ爲デアッタラウト察ス
ルデゴザイマス、即チ編成ヲ表ハサナイト云フ意味ニ於テ公言イタサナカ
タノデゴザイマス、併ナガラ時代ノ要求ハ斯ノ如キコトヲ何時マデモ秘ス
ト云フコトヲ許シマセヌ、私ハ何時ヨリ此八八ト云フモノガ世ノ中ニ漏レ
シタカト云フコトハ遺憾ナガラ御説明ヲ致シ兼ネル、實ハ存ジマセヌガ、イ
ツノ間ニカ新聞上ニ八八艦隊ト云フコトヲ散見イタシマシタノガ此一兩年此
方ト記憶イタシマス、是ハ自然ノ結果デアラウト斯ウ私ハ考ヘマス、併シ
今日ニ於キマシテハ私ハ是位ノ程度マデハ明言ヲ致シテモ差支ナイト認メ
シテ、其詳細ナル理由ヲ出來マスルダケ説明イタシテ居ルノデゴザイマス、
又八八ナルモノヲ決定シタ時期ハ三十九年頃デアル、其當時決メテ最早十年
モ經テ居ル今日ニ於テ矢張り八八デ宜イカト云フ御質問ガアッタヤウデア
リマスガ、茲ニ於キマシテ跡ノ方デ御質問ニナリマシタ此補充ノ理由、或ハ擴
張ト云フヤウナ理由ニ付テノ問題ヲ併セテ御答スル方ガ便利カト存ジマス、
衆議院ニ於キマシテ私ガ説明イタシマシタコトヲ御通讀下サイマシタヤウデ
アリマスガ、日露當時ハ即チ六六デアッタノデゴザイマスガ、途中巡洋艦ガ
二隻加ハリマシテ謂ハバ六八トデモ申スヤウナ形ニナリマシタ、其後八八ナ
ルモノヲ決定セラレマスル當時戰利艦ヲ加ヘマシテ形ニ於テハ八八艦隊デ
アッタ譯デゴザイマス、唯八八ト申シマシテモ、此八八ナルモノハ艦齡八年以
内ノモノヲ以テ八八ヲ編成スルト云フコトニ決ッテ居リマシタノデ、即チ八
八ト云フ數ハゴザイマシテモ、艦齡八年以內ノモノノミヲ以テ編成イタスト
云フコトハ出來ナカッタノデゴザイマス、此ニ於キマシテ補充ト云フ意味ガ

生ジテ參リマシタ、兎ニ角八八ナリ、八四ナリト云フ形ハアル、而カモ其艦
ハ時代ノ要求ニ應ズルダケノモノガ形ヲ成シテ居ラナイモノヲモ混ゼテ兎ニ
角數字ダケ合ッテ居ル、斯ウ云フ姿ニナッテ居ッタノデアリマス、其形ノアルモ
ノデ海軍デハ艦齡八年以內ノモノヲ第一期ト稱シテ居リマス、次ノ八年ヲ第
二期、最後ノ八年ノモノヲ第三期ト稱シテ居リマスガ、第一期ニ屬シマスモ
ノノミノ新式ノ艦ヲ以テ八八ナリ、八四ナリヲ編成イタシタイト云フ希望デ
アルノデアリマス、ソコデ唯今御質問ノ三十九年ニ決定シタノデ今ハソレデ
ハ不十分デハナイカト云フ御質問デシタガ、艦ハ四十年頃ト今日トハ一艦相
對シマスル勢力ハ非常ナ差異ガアルノデゴザイマス、此差異ガ八八ナルモノ
ヲ今日ニ於キマシテモ矢張り有力ナル艦隊デアルト云フコトヲ申上ゲ得ラル
ルノデゴザイマス、艦體ニ於キマシテ兎ニ角形ニ於キマシテハ八四艦隊ハ現
存イタシテ居ルノデゴザイマス、八ナル戰艦ノ數字ハ既ニ御協贊ヲ經マシタ
三隻ノ戰艦、之ニ現存シテ居リマス所ノ扶桑ヲ加ヘマシテ、超弩級艦ガ四隻
トナリマス、其外ニ攝津河内安藝薩摩ト云フガ如キモノモゴザイマス、又香
取鹿島ト云フ如キモノモゴザイマスカラ兎ニ角戰艦八隻ト云フモノハ數ニ於
テハゴザイマスガ、當局ノ希望イタシテ居リマス所ノ謂ハユル超弩級艦ナル
モノノ數ガ少イノデゴザイマス、又巡洋戰艦ニ於キマシテハ御承知ノ通り金
剛、比叡、榛名、霧島ト云フガ如キ艦船モゴザイマス、是ハ即チ八四艦隊ニ對ス
ル四ニ當リマスノデゴザイマス、ソレデ大正十二年度マデニ完全イタスト申
シテ居リマスノハ、既ニ現存イタシテ居リマス所ノ舊式ノ艦ニ代フルニ超弩
級艦ヲ以テスルト云フ希望デゴザイマス、左様デゴザイマスカラ、現ニ要求イ
タシテ居リマス所ノ戰艦一隻ハ現ニゴザイマス所ノ薩摩ノ代艦ニナル形ニナ
ルノデゴザイマス、ソコデ大正十二年ニナリマシテ、唯今ノ希望ガ充タサレ
マスルト見マスト云フト、超弩級艦ノ戰艦ガ八隻、金剛型ノ巡洋戰艦四隻ト云
フモノハ殆ド何レモ艦齡第一期ニ屬スルモノノミヲ以テ編成イタスコトガ出
來ルト云フ姿ニナリマス、隨ッテ艦齡第二期ニ屬シマスモノガ尙ホ其外ニ若干
アル、斯ウ云フ姿ニナリマス、ソレカラ四十年以後ノ製艦ノ狀況ト云フコトヲ
御聞キデゴザイマシタガ、是ハ大概唯今申上ゲタノデ略、御分リ下スッタラウ
カト考ヘマス、屢、製艦費ヲ前々大臣以來要求シマシタノハ即チ此八八、八四、
何レニシマシテモ之ヲ充タスガ爲ニ此八八ト云フコトヲ説明イタサズシテ要
求イタシマシタノデアリマス、デ日露戰後完成イタシマシタ艦ハ現在戰艦

ニ於キマシテモ既ニ扶桑、攝津、河内、安藝、薩摩ト云フガ如キモノガアリマス、又戰役中ニ外國ヘ註文イタシマシタ鹿島香取ト云フモノモ現存イタシテ居ルノデゴザイマス、又巡洋戰艦ニ於キマシテモ是ハ先刻申上ゲマシタ通り四隻ゴザイマス、其他ニ快速巡洋艦、驅逐艦ト云フガ如キモノモ多々ゴザイマス、隨テ先刻製艦費ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタガ、數字ノコトハ記憶イタシマセヌカラ唯今申上兼ネマス、以上ノ如キ艦ハ戰後ニ新造サレタノデゴザイマス、ソレカラ最後ノ御質問ニ歐洲戰亂ノ結果艦型ヲ變更スル必要ハナイカドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、私ハ其必要ナシト認メテ居ルノデゴザイマス、御承知ノ通り日露戰後製艦上ニ於キマシテハ一大革命ト申シテモ宜イヤウナ急激ノ變化ガアッタノデゴザイマス、是ハ此戰争前ヨリ多少兆シテ居リマシタ、即チ戰争前ニハ三笠型ガ殆ド何レノ國デモ最モ有力ノ艦デアツタノデゴザイマス、然ルニ英國ニ於キマシテ、戰前ニ此三笠型ニ若干ノ巨砲ヲ加ヘルト云フ方針ヲ執リマシタ、是ガ艦型ヲ變更イタシマスル原因ニナツテ居ルカニ考ヘルノデゴザイマス、即チ我ガ海軍ニゴザイマスル所ノ香取鹿島ガ其型ニナツテ居リマス、而シテ日露戰争中戰艦距離ガ非常ニ延長イタシマシタ、其延長イタシマシタ理由ニ付キマシテハ種々ナル原因ガゴザイマスケレドモ、一面ニ於キマシテ水雷ノ攻撃力ノ發達ト云フコトガ一つノ原因ヲナシテ居ルカニ察スルノデアリマス、ソレ等ノ爲ニ到底距離ニ於テ決戰ヲ行フト云フコトハナイト云フコトハ自然ニ是ハ我々當局者ノ頭ニ浮ビマシタ結果デアラウト想像シマスノデアリマスガ、英國ニ於キマシテ御承知ノ如ク弩級戰艦ト云フモノハ「ドレッドノート」ト云フ戰艦ヲ製造イタシマシタノガ抑、此弩級艦ノ初メデアリマス、是ハ戰争ノ實驗ニ徴シテノ結果デアリマス、是ハドウ云フ風ニ變タノデアアルノカト申シマスルト、戰前ノ所謂三笠型ノ艦ハ十二吋砲ガ四門、艦首艦尾ニ二門ヅツ其砲塔ニ這入ッテ備ハッテ居リマス、其外兩舷ニ六吋位ノ砲ガ若干備ヘラレアリマシテ、之ヲ副砲ト稱ヘテ居ルノデアリマス、是ハ殆ド何レノ國ニ於キマシテモ同一ノ裝備法デゴザイマス、然ルニ前申シマスル通り戰艦距離ガ延長イタシマス結果六吋砲デハ遠方ニ届クマイ、假ニ届クトシテモ其破壊力ガ弱イト云フヤウナ理由カラ致シマシテ、此副砲ナルモノハ英國デハ廢シマシテ、所謂巨砲主義、即チ十二吋砲ノミヲ搭載イタシマシタノガ「ドレッドノート」型ニナルノデゴザイマス、其後十二吋ガ十三吋半ニナリ、現在ハ十四吋砲ヲ搭載シテ居ル次第デア

リマス、翻ッテ現今ノ戰争ノ結果如何ニ變化スルカト云フコトヲ想像イタシマスト云フト、我々當局者ト致シマシテハ變更ノ仕様ガナイデアラウト思ヒマス、假ニ變更イタシタト致シタナラバ、或ハ十五吋砲ヲ十六吋砲ニスルトカ、或ル新聞ニゴザイマスル通り二十八吋砲ニスルト云フガ如クニ、即チ砲ノ口径ヲ大キクスル位ニ止マルコトデアラウト思ヒマス、砲ノ口径ヲ大キク致シマスレバ、從ッテ砲ノ數ヲ減ズルト云フコトガ自然ノ結果トシテ已ムヲ得ナイノデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘマスト云フト、假令變化ヲシタ所デ大ナル變化、即チ日露戰争前カラ日露戰争後ニ變タト云フガ如キ急激ナル變化ヲ來タサウト云フコトハ私共ハ豫想イタシマセヌ、又潛水艇ニ對シマシテモ防禦方法ニ付テ種々ナル講究モゴザイマスガ、是ハ又別問題ニナリマス、要スルニ歐洲ノ英獨間ノ海戰ガナイト云フコトハ何人モ斷言ハ出來マスマイト考ヘマスルガ、私共ノ想像ト致シマシテハ、恐ラクハ大ナル戰争ハナイカト豫想イタシテ居ルノデアリマスガ、假ニアリト致シマシテモ前申シマスヤウナ理由デ艦型ニ非常ナル變更ヲ來タサウトハ豫期イタシマセヌ次第デゴザイマス、大要御質問ニ對シテノ御答ハ是デ終ッタカト考ヘマスルガ、尙ホゴザイマスルナラバ……

○澤柳政太郎君 サウ致シマス、不完全ナル形ニ於テハ現在既ニ八四艦隊ガ成立ッテ居ル、艦齡ト云フモノニ重キヲ置イテ、即チ築造以來八箇年ト云フ艦齡ニ重キヲ置イテ考ヘレバ、サウ云フ八四艦隊ト云フモノハ先刻來御説明ノアリマシタ今後二億五千萬圓ノ豫算ヲ要求シテ十二年度マデニ拵ヘタイト斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(加藤友三郎君) 左様デゴザイマス、大體……

○澤柳政太郎君 又モウ一つハ此ノ數字ノコトハ記憶セヌト云フ御話デアリマシタガ、年々海軍ノ臨時費ト云フモノハ或ハ多キ時ハ六千萬圓ニ上リ、少クモ四十年度以後三千何萬圓ト云フヤウナ次第デ、約年々五千萬圓ヅツヲ臨時費ニ使ッテ居ルノデゴザイマス、而シテ軍艦製造費ニ大正四年マデニ支出イタシタルモノガ三億一千八百萬圓、三億二千萬圓ト云フモノガアルノデゴザイマスルカラ、若シ此八八艦隊デ且又御希望ノ通りニ艦齡ノ揃ッタモノヲ……第一期ノモノヲ揃ヘヤウト云フ御考デ、今日マデ其方針ヲ一定シテ、ズット御計畫ニナツテ居ッタナラバ、是ダケノ金額ヲ今日マデ支出イタシテ居ルノデアリマスルカラ、モウ少シ完全ナル形ニ於テ八四艦隊ト云フモノガ出來テ居ラヌ

ケレバナラヌカト思フノデゴザイマスガ、ソレハ如何ナモノデアリマセウカ、ト申スノハ是カラ二億五千萬圓ヲ要求ニナレバ、ソレデ御希望通りノ八四艦隊ガ十二年度マデニ出來ルト云フコトデアリマスガ、今日マデノ如クニ年々五千萬圓ヅツ支出シテ居ル、而シテ軍艦ハ完全ニ第一期ノモノヲ揃ヘルコトガ出來ナイト云フコトデアッタナラバ、其二億五千萬圓以外ニ尙ホ幾多ノ巨額ノ軍艦製造費ヲ要スルノデハナイデアラウカ、殆ド今日マデ四十年カ大正四年度マデ三億二千萬圓ヲ出シテ居リマスガ、其中デ所謂御希望ノ第一期ニナルベキ戰艦ヲ艦隊編成組織ニセラレルコトガ出來ナイト云フコトデアッタナラバ、將來ハ其非常ニ多額ノ經費ヲ要スルコトデアラウカト思フノデゴザイマス、ソレ故ニ今日マデ四十年度……即チ大方針ガ決ッタ以後三億二千萬圓ト云フヤウナ巨額ヲ今日マデ軍艦製造費ニ使ッテ居ルニ拘ラズ、尙ホ希望スル所ニ頗ル近い所ノ艦隊ヲ有スルコトガ出來ヌノデアルカ、其邊ニ付テハドウモ素人ノコトデ了解ニ苦シムノデアリマスカラ御説明ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○國務大臣(加藤友三郎君) 御説ノ通りニ唯今モ不完全ナガラ八四艦隊ナルモノガ現存イタシテ居ルノデアリマス、假令三億ナニガシテ四十年以後今日マデ使ッテ、何故完全ナ艦隊ガ出來ヌカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ實ニ已ムヲ得ナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、艦ノ形ガ變ハリマシタ結果艦型ヲ揃ヘルコトガ出來ナカッタト云フノガ一ツノ已ムヲ得ヌ理由デゴザイマス、ソレカラモウ一ツニハ製艦費ノ成立ガ遅レタト云フコトガモウ一ツノ原因デゴザイマス、若シ當局ガ希望イタシマシタヤウニモウ少シ早く製艦費ヲ御協賛ヲ得ルト云フ手續ヲ履ムコトガ出來マシタナラバ、モウ少シ早く揃ウタ艦ヲ以テ艦隊ヲ編成イタスコトガ出來デアラウト考ヘマス、要スルニ遅レタノト、艦ノ恰好ガ變タノト、此ニツガ整一ナル艦隊ヲ今日マデ有ツコトガ出來ナイト云フ原因ニナッテ居ルノデゴザイマス、今後ノ補充ニ付キマシテモ十二年度マデ計畫イタシテ居リマスモノノ外ニ、現ニ有ッテ居リマス所ノ艦ヲ補充イタシマスニハ、後年ニ於キマシテモ若干ヲ御願ヒ致サナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ大體ニ於キマシテ年々數千萬圓ノ金ヲ戴キマセスケレバ艦隊ノ勢力ヲ常ニ維持シテ行クコトハ當然出來ヌノデアリマス、是等ノ數字ニ互リマシテ大體ノ説明ハ分科會ニ於キマシテモ精シク申上ゲヤウト考ヘテ居リマス

○子爵岡部長職君 既ニ質問ノ通告ハゴザイマセヌデアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 通告セラレタ御方ハ是デ濟ミマシタ

○子爵岡部長職君 然ラバ此場合ニ於キマシテ豫算審査期限ヲ定ムルノ件ニ付テ一言イタシタイト思ヒマス、本年ハ最早歳末ニ切迫イタシマシテゴザイマス、又毎年ノ例ト致シマシテ新年ニ於キマシテハ暫ク休會ニ相成リマスルコトト存ジマス、之ニ付キマシテハ改メテ議長ヨリ本議場ニ御相談ニナリマスコトト存ジマス、是等ヲ推測リマシテ此豫算ノ審査期限ハ來ル二月五日マデト致シタイト考ヘマス、何卒滿場諸君ノ御同意ヲ請ヒマス

○男爵小澤武雄君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ唯今申述ベラレマシタ審査期限ヲ二月五日マデトスルト云フ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、國庫出納金端數計算法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ本日ハ總テ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

國庫出納金端數計算法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正四年十二月二十三日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

國庫出納金端數計算法案

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第二條 國稅ノ課稅標準額ノ算定ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

命令ヲ以テ指定スル國稅ノ課稅標準額ニシテ一圓未滿ノ端數アルトキハ

其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第三條 分割シテ收入シ又ハ仕拂フ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付第一條ノ規定ヲ準用ス

第四條 分割シテ收入又ハ仕拂フ爲ス場合ニ於テ分割金額一錢未滿ナルトキ又ハ之ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ分割金額又ハ端數ハ最初ノ收入金又ハ支拂金ニ之ヲ合算ス但シ地租ノ分納額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 賣藥印紙稅及郵便切手ヲ以テ納ムル郵便料金ニ付テハ本法ヲ適用セシ法律ニ別段ノ定アルモノノ外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 本法ハ北海道府縣郡市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ收入及仕拂ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

第七條 本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 明治四十年法律第三十一號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前納入ノ告知ヲ爲シ又ハ仕拂ノ命令ヲ發シタルモノニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 此法案ハ政府ノ仕拂並ニ收納金ニ付テ厘位ヲ切捨テルト云フ案デゴザイマス、御審議ノ上御協贊アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

- 國庫出納金端數計算法案特別委員
- 侯爵徳川 頼倫君 子爵稻 垣 大祥君 小野田 元 熙君
- 男爵小早川 四郎君 男爵黒田 長和君 阪本 鈺之助君
- 高橋 新吉君 海江田準一郎君 上松 泰造君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、帝國大學特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

帝國大學特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年十二月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿 帝國大學特別會計法中改正法律案

第二條中「百三十三萬圓」ヲ「百三十六萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ大正五年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 此案ハ帝國大學ノ特別會計法中東京帝國大學ニ對スル政府ノ支出金百三十三萬圓ヲ三萬圓ヲ増加シテ百三十六萬圓トシタイト云フ案デアリマス、其理由ハ明年度カラ傳染病研究所ノ事業ヲ東京帝國大學ノ特別會計ノ經營ニ移ス爲ニ、其收入不足補充トシテ三萬圓増加スル必要ガアル爲デアリマス、御承知ノ如クニ傳染病研究所ハ昨年ノ十月ニ内務省所管カラ文部省所管ニ移シマシテ、其當時カラ是ハ東京帝國大學ノ附屬ト致シテ同大學ノ醫科大學ト互ニ相扶ケテ事業ノ發達ヲ圖ラウト云フ積リデアリマシタ、既ニ其趣意ニ基イテ昨年ノ議會ニ豫算ヲ提出シタノデアリマスガ、議會ガ解散ノ爲ニ豫算ガ不成立ニナリマシテ、今日ニ至ッタノデアリマス、依ッテ明年度ノ豫算カラ之ヲ實行イタシテ初メノ趣意ヲ貫徹シタイ、トコロガ從來ハ傳染病研究所ノ血清賣下金ノ收入ガアリマシテ、ソレデ以テ大體經常支出ヲ支辨シテ居リマシタ、ソレデアリマスルカラ昨年豫算ヲ提出シマス際ニハ其儘大學ノ特別會計ニ移シマシテ、別ニ政府支出金ノ増加ヲ必要トシナカッタノデアリマス、トコロガ此血清類殊ニ實扶的里亞ノ血清ニ多量ノ免疫單位ヲ注射スル方ガ宜イト云フコトガ近時ノ臨床上ノ實驗カラ起ッタコトデアリマシテ、サウ致シマスルトナカク此貧民等ニ之ヲ使用スルニ於テ費用ガ掛リ過ギテ、假令多量ヲ要シマセヌデモ從來ノ儘デアリマシテモ、ナカク貧民ガ使用スルニ堪ヘナイト云フ狀況デアリマスルカラ、成ルベク此血清ノ値段ヲ下ゲテヤル、下ゲルト云フコトガ衛生上最モ必要ナコトデアルト云フコトヲ認メマシテ、本年ノ九月カラ血清ノ値下ヲ致シ、殊ニ實扶的里亞ノ血清ノ如キハ四割減ニスルト云フコトデ、ソレヲ實行スルコトニナリマシテ、ソレガ爲ニ收入ニ凡ソ八萬圓バカリ減少ヲ見ルコトニナッタノデアリマス、併ナガラ一方ハ色々從來ノ傳染病研究所ノ整理ヲ致シマシテ支出ニ節約ヲ加

衆議院議長島田三郎

ヘルト云フコトヲスルノデアリマスルカラ、彼此レ差引キマシタ所デ値下ヲ
斷行シ一般……殊ニ貧民ニ之ヲ使用スルコトガ出來ルヤウニシテヤルト
云フコトニ付テ三萬圓ノ收入不足ハ誠ニ已ムヲ得ナイコトデアアルノデアリ
マス、此理由デ東京帝國大學ノ特別會計支出三萬圓ヲ増加スルト云フ案ヲ
茲ニ提出シタノデアリマス、何卒御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望
イタシマス

○水野鍊太郎君 文部大臣ニ御尋イタシタイノデアリマス、此三萬圓ヲ帝國
大學特別會計ニ増スト云フコトハ詰リ血清ヲ賣下ゲル代價ヲ引下ゲタ爲ノミ
デアリマスカ、將タ是ハ私ガ聞ク所デアリマス……聞ク所ニ據リマスレバ北
里博士ガ研究所ヲ擔任シテ居ッタ時ヨリ文部省所管ニ移ッタ後ニ於テ、血清
ノ賣レ高ガ非常ニ惡クナッタ、其結果政府ノ收入スベキ金額ガ餘ホド減ッタト
云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、此政府ノ收入ノ減少額ハ唯今御説明ニ
ナッタ所ニ依リマスルト云フト血清類、實扶的里亞血清ノ代價ヲ引下ゲタト
云フコトガ唯一ノ原因ノヤウニ承リマシタガ、其以外ニ尙ホ從來ヨリハ血清
ノ賣上高ガ少クナッタト云フコトハナイノデアリマスカ、ソレカラ今一ツハ
果シテ實扶的里亞血清ヲ貧民ナドニ植付ケルガ爲ニ廉クスル必要ガアルト云
フノデアリマスガ、是ハ何故ニ昨年ノ九月デアリマシタカ近ク起ッタノデア
リマスガ、又是モ謂フ所ニ依リマスレバ北里研究所ノ方ハ賣レ高ガ宜イガ、
ドウモ文部省ニ移ッタ後ノ傳染病研究所ノハ賣レ高ガ少クナッタ、ソレ故ニ
是ト競争スルノデハナイカ知レマセケレドモ、政府ノ傳染病研究所ノ收入
ヲ増サムガ爲ニ減ジタノデアアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ官業ガ民業ヲ壓迫スル
ノデアアルト云フヤウナ聲モ聞イテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ事實ハ
ナイノデアリマスカ、唯是ハ咄嗟ニ値下ヲシタヤウナコトガ起リマシタ爲ニ
斯ノ如キ噂ヲ生ズルノモ無理ニアラズト考ヘルノデアリマス、念ノ爲ニ御伺
シマス、今一ツハ研究所ノ問題ト關聯イタシマシテ、先キホド水産講習所ノ
コトヲ御聽シタノデアリマスガ、其御答ニ水産講習所ノ方ハマダ能ク決ッテ
居ラナカッタガ、現文相高田君ガ御入閣ニナッタ後ニ、調査ノ必要ヲ認メテ
今日ニ於テハ之ヲ調査ヲシテ居ルガ故ニ、他日必要ノ場合ニハ、又何レノ時
ニカ文部省所管ニ移スコトガアルデアラウト云フヤウナ御答ト記憶シテ居リ
マス、果シテ左様ナコトデアレバ是亦何レノ時カソクナヤウナ御考ヲ有ッテ
居ルノデアリマスカ、隨分學生ノ上ニ於キマシテ、所生ノ上ニ於キマシテ、

不安ヲ感ジテ居ル問題ト思ヒマスガ、移スベカラズト云フ御考デアアルナラバ
移スモノデナイト云フ御明言ヲ伺ヒマスレバ安心ヲ致スコトデアラウト思ヒ
マス、是ガ一年、二年、何年カノ先キニ移スト云フヤウナコトノ問題ニナリ
マスレバ隨分不安ノ念ヲ來タスコトト思ヒマスカラ、是モ序デゴザイマス
ラ併セテ御伺ヲ致シテ置キタイノデゴザイマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 三萬圓ノ増額ヲ請求イタシマスノハ決シテ民業ト
競争スルト云フ目的デモナク、賣レ高ガ減ッタカラ値下ヲスルト云フ意味デ
モナイノデアリマシテ、貧民ニ成ルベク之ヲ使用スルコトノ便利ヲ圖リタイ
ト云フ意ニ外ナラヌ譯デアリマス、デ突然之ヲ實行スルト云フコトニ致シタ
譯デハナイノデ、段々研究ノ末ニ昨年九月ヨリ之ヲ實行スルト云フコトニシ
マシタ、又水産講習所ハ先刻モ申上ゲタ通りニ研究ノ餘地アリト云フ考デア
リマシテ、是ハ研究中デアリマスカラ將來移スコトガナイト云フコトハ、今
此處デ斷言スルコトハアリマセヌガ……斷言スルコトハ出來マセヌガ、其研
究ノ結果ニ偏ニ依ルコトデアリマス、今豫メ何トモ申上ゲ兼ネル譯デアリマ
ス

○水野鍊太郎君 今ノ御答ニ一ツ落チテ居リマスガ、傳染病研究所ノ收入ハ
單ニ血清ノ代價ヲ引下ゲタノミニ依ッテ減ジタニアラズシテ、其以外ニ内務
省所管カラ文部省所管ニ移ッタ後ニ、血清ノ製造ノ上カラ效力ニ薄弱ヲ認メ
タ、ソレガ爲ニ減ッタト云フコトモ言ウテ居ルノデアリマスガ、減ッタ高ガ
ソレモ原因シテ居ルノデハアリマスマイカ、ソレガドノ位カト云フコトヲ伺
ッタノデアリマスガ、其御答ガナカッタカラ改メテ伺ヒマス、モウ一ツハ要ス
ルニ水産講習所ハ調査中デ斷言スルコトハ出來ナイ、何レノ時カ更ニ研究ヲ
シテ移管問題ノ生ズルコトガアルト云フ御答ト承知イタシテ宜シウゴザイマ
スカ

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 先刻ノ第一ノ御問ニ付キマシテハ、賣レ高ハ決シ
テ減ッテ居リマセヌ、又値下ヲスルト云フ理由ハ、前申上ゲタ理由ニ外ナラヌ
譯デ、他ニ理由ノアル譯デハ決シテナイノデアリマス、又水産講習所ハ將來
移管ヲスルト云フコトハ決シテ申上ゲナイノデアリマス、唯調査ヲスル研究
ヲスルト云フコトダケ……又學生ヲ不安ノ状態ニ置クト云フコトノ不利益ハ

能ク承知シテ居リマスカラ、サウ云フコトノ無カラムヤウニ精々注意ヲスル
コトハ申スマデモナイコトデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

帝國大學特別會計法中改正法律案特別委員

伯爵林 博太郎君 子爵牧野 忠篤君 男爵高木 兼寛君

男爵北大路 實信君 男爵藤堂 高成君 三宅 秀君

木場 貞長君 南 弘君 石橋 謹二君

○議長(公爵徳川家達君) 第七、造幣局設備擴張費ニ關スル法律案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年十二月二十三日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案

大正五年度ニ於テ造幣局ノ設備擴張ニ要スル經費ニ充用スルカ爲造幣局資
金ノ内一萬六千九百五圓ヲ限リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

〔政府委員加藤政之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(加藤政之助君) 諸君、本案ニ付キマシテハ、大臣ハ唯今衆議院
ノ方へ參ッテ居リマスデ私カラ説明ヲ致シマス、造幣局ハ皆様御承知ノ通りニ
其設備ハ明治二十一年ニ致シマシタノデ、今日ニ至リマスルト云フト極メテ
此不十分ヲ感ジテ居リマスル次第デアリマス、現ニ大正三年ノ如キハ地金ノ
改鑄若クハ精製ヲ依頼スルモノガ餘ホド分量ガ殖エテ參リマシテ、或ハ夜業
ヲナシ、休暇ノ日ヲ廢シテ辛ウジテ其需ニ應ジテ居ルト云フ現況デアリマ
ス、殊ニ引上ゲマシタ貨幣ノ改鑄ヲ要スルモノモ昨今アリマスノデ、旁々此
設備ヲ擴張スルノ必要ヲ感ジマシタ次第デアリマス、是レ本案ヲ提出イタシ
マシタ理由デゴザイマス、宜シク御審議ノ上御贊同ヲ……
○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシ
テ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案特別委員

子爵青木 信光君 子爵八條 隆正君 男爵毛利 五郎君

男爵尾崎 麟太郎君 中島 永元君 千頭 清臣君

仁尾 惟茂君 武石 橋次君 安田 善三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第九、大正二年法律第九號中改正法

律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

大正四年十二月二十三日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ衆議院ノ修正、
ハ同削除ノ符號ナリ〕

裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案

第一條 長崎控訴院ハ之ヲ福岡縣福岡市ニ移シ福岡控訴院ト改稱ス

第二條 北海道旭川區ニ地方裁判所ヲ置キ之ヲ旭川地方裁判所ト稱ス

第三條 根室地方裁判所ハ之ヲ北海道釧路郡釧路町ニ移シ釧路地方裁判所
ト改稱ス

附 則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

大正二年法律第九號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

大正四年十二月二十三日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正二年法律第九號中改正法律案

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正二年法律第九號中改正法律案

大正二年法律第九號中左ノ通改正ス
別表裁判所管轄區域表中大津區裁判所及長濱區裁判所ノ項ヲ左ノ如ク改ム

[本表中左側ニ一ヲ施セルハ衆議院ニ於テ削除シタル符號ナリ]

大津	滋賀縣ノ内 大津市	滋賀郡	栗太郡	野洲郡	甲賀郡	高島郡
長濱	滋賀縣ノ内 坂田郡	東淺井郡	伊香郡			

同表中控訴院ノ欄中「長崎ヲ」福岡ニ改ム
同表中札幌地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

札幌		旭川	
札幌	北海道ノ内 札幌區 空知郡ノ内 岩見澤町 樺戸郡ノ内 月形村	北海道ノ内 旭川區 空知郡ノ内 瀧川町 上富良野村 樺戸郡ノ内 新十津川村 勇拂郡ノ内 占冠村	北海道ノ内 上川郡(石狩) 雨龍郡 上川郡(天鹽) 中川郡(天鹽)
室蘭	北海道ノ内 室蘭郡ノ内 虻田郡ノ内 勇拂郡ノ内 苦小牧村 穂別村	北海道ノ内 虻田郡ノ内 倶知安村	北海道ノ内 古宇郡 磯谷郡 歌葉郡 壽都郡 烏牧郡
浦河	北海道ノ内 浦河郡	北海道ノ内 小樽郡ノ内 美國郡	北海道ノ内 小樽郡 高島郡 忍路郡 余市郡 古平郡
小樽	北海道ノ内 小樽郡	北海道ノ内 小樽郡	北海道ノ内 小樽郡 高島郡 忍路郡 余市郡 古平郡
岩内	北海道ノ内 岩内郡	北海道ノ内 岩内郡	北海道ノ内 岩内郡
札幌	北海道ノ内 札幌郡	北海道ノ内 札幌郡	北海道ノ内 札幌郡

同表中地方裁判所ノ欄中「根室」ヲ「釧路」ニ改ム
同表中樺太地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

附則

本法施行ノ期日ハ各項ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前札幌地方裁判所、長濱區裁判所又ハ豐原區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ各其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス
〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

樺太	豐原	榮濱郡	元泊郡	大泊郡	長濱郡	富内郡
眞岡	眞岡	本斗郡	野田寒郡	泊居郡	久春内郡	鶴城郡
名好郡	名好郡					

○國務大臣(尾崎行雄君) 此二案ハ關聯シテ居リマスル故ニ同時ニ説明ヲ致シマスルガ、第一案ハ長崎控訴院ヲ福岡ニ移スト云フコトト、北海道ノ旭川ニ地方裁判所ヲ設ケルト云フコトト、根室地方裁判所ヲ釧路ニ移スト云フ爲ノ趣意デアリマス、サウシテ此新設若クハ移轉ヲ必要トスルニ至ッタノハ主トシテ時勢ノ進運交通機關ノ變化等ニ從ヒマシテ斯ノ如クスルコトガ現在ノ狀態及將來ニ向ッテ上下一般ノ利便デアルト云フ趣意ヲ提案ヲ致シマシタ、從ッテソレヲ致ス以上ハ大正二年法律第九號ノ改正モ自然ニ必要ガ起ル譯デアリマス、ソレニハ前三箇所ノ外樺太ニ色々ナ地名ガ出來マシタ、從來ハ山デ分ケテアリマシタガ、今度ハ新シク地名ヲ付ケテ其地方ガ別ニナッタ故ニ、其地方ノ名ニ依ッテ裁判所ノ管轄區域ヲ明カニ掲ゲタ、是ガ樺太ニ關係スルコトデ、其他ハ新法律案ノ自然ノ結果トシテ此改正案ガ出來マシタノデアリマスルガ故ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○河村讓三郎君 本員ハ長崎控訴院ノ移轉ニ關スル改正案ノ衆議院ニ於テ否決セラレタコトニ付テ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、此改正案ガ否決サレマシテモ差支ハナイト云フ當局ノ御意嚮デアリマセウカ、第一ニ其事ヲ伺ヒタイ、又此移轉ヲ必要トセラレタ理由ハ控訴院ノ事務ハ中樞ノ場所デ扱フノガ適當デアルニ依ッテ移轉ヲスルト云フノガ一ツノ理由、今一ツハ長崎ノ從來ノ建物ハ非常ニ腐朽イタシテ改築ノ急ニ迫ッテ居ルト云フノガ一ツ、事務上ノ便否ノコトハ今數年間延期ヲ致シ研究ヲ重ネマシテモ差支ナカラウト考ヘマスガ、廳舎ガ腐朽イタシテ居リマスルノハ、聞ク所ニ依リマスルト白蟻ノ害ヲ蒙ッテ建物ノ要部ハ悉ク破壊シテ居ル、危險ノ狀態ニ迫ッテ居ルト

云フコトヲ申スノデアリマスガ、果シテ左ホド甚シク腐朽イタシテ居ルノデアリマスカ、或ハ多少修繕デモ加ヘレバ尙ホ數年延期シテモ差支ナイヤウナ譯デアリマスカ、是ガ一ツノ間デアリマス、又此移轉ノ經費ハ人民ノ寄附ニ依ルト云フコト、此寄附ト云フコトニ付キマシテハ色々弊害モアルヤウニ聞イテ居リマス、何故ニ斯ノ如キ方法ヲ取ラレタノデアリマスカ、普通ノ國庫金ヲ以テ此經費ヲ支辨スルト云フコトガ困難ナルガ故ニ此寄附ノ方法ニ依ルト云フ事情ガアルノデアリマスカ、僅ニ十數萬圓ノ經費デアリマス、而カモソレハ人民ノ生命財産ヲ保護スルニ必要ナル所ノ裁判所ノ建物ニ係ル經費デアリマス、其經費ヲ國庫金ヲ以テ支辨スルコトガ出來ナイ爲ニ人民ノ寄附ニ依ルト云フノハ誠ニ慨嘆スベキコトデアラウト思ヒマスガ、此經費ノ支出ノコトニ牽聯シマスカラ併セテ伺ヒマスガ、先年行政整理ノ際ニ一時ニ數箇所ノ裁判所ヲ廢シ或ハ支部ヲ減ラシタ、其當時斯ノ如ク急激ノ變更ヲセラレテハ非常ニ差支ヲ生ジ人民ガ困難ヲ感ズルト云フコトハ皆豫想イタシタ次第デアリマスケレドモ、何分已ムヲ得ザル事情ガアツテ其當時贊成ラシタノデアリマス、併ナガラ將來復活ノ必要ガアルデアラウト云フコトハ其當時申シタコトデアリマスガ、昨今復活ノ希望ガ盛ニ人民ノ間ニ起ツテ居リマス、定メテ今回ノ豫算ニハ多少復活ノ要求モアラウカト思ヒマシタガ、一箇所モナイヤウデアリマス、是等モ何カ經費ノ點ニ付テ之ヲ許サスト云フノデアリマセウカ、是ハ此案ニハ關係ハアリマセヌガ、控訴院移轉ノ經費ヲ寄附ニ依ルト云フヤウナ誠ニ：私ノ考デハ困難ナル方法ニ依ルノデアリマスカラ、此復活ノ如キモ其支出ガ出來ナイト云フ譯デアリマスカ、其事モ併セテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ダケヲ：

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 御答ヘ致シマスガ、第一ノ現在ノ長崎控訴院ガ頗ル朽廢シテ殆ド危險狀態ニ在ルト云フコトハ其道ノ専門家ノ報告デアリマシテ、一年モ早ク之ヲ改築スル必要ハ目下ニ迫ツテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ建物ノコトデアリマスカラ若シ修繕ヲ加ヘタラバ或ハ一年ヤソコイラ又轉覆セズニ持テテ行クカモ知レマセヌガ、技師ノ見ル所ニ依リマスレバ出來ルダケ早ク移シタ方が安全デアルト云フ譯デアリマスカラ、此機會ニ乗ジテ長崎ヨリハ今日ニ於テハ何レノ點カラ見テモ更ニ便利ナリト考ヘテ居ル所ノ福岡ニ移轉シヤウト云フ議ヲ決シタノデアリマス、第二ノ建築費ヲ地方ノ寄附

ニ仰グト云フコトハ司法省トシテモ甚ダ好シク居ラヌノデアリマス、甚ダ好シカラヌコトヲ致スノデアリマスガ、經費ノ都合上隨分是マデモ區裁判所ヲ地方ノ寄附ニ依ツテ作ツタ經歷ハ大分アルノデアリマス、單リ司法省ノミナラズ大藏省ニ於テモ遞信省ニ於テモ政府各部ノ官衙ニ於テ、矢張り地方ノ寄附ニ依ツテ建築ヲ致スト云フ例ガアリマシタ、共ニ餘リ面白クナイコトトハ考ヘテ居リマスケレドモ尙ホ之ヲ造ラザルニ優ルト云フ比較的見地ヨリシテ已ムヲ得ズ忍ンデ之ヲ是認シタ譯デアリマス、而シテ其寄附ノ金額ハ來年度ニ於テハ十萬圓デアリマスガ、總額ニ於テハ三十六萬圓バカリ、約四十萬圓デアリマス、ソレカラ第三ニ先年廢止セラレマシタ區裁判所、地方裁判所ノ支部等ニ付テハ御説ノ如ク復活ノ希望ハ殆ド全國各地カラ參リマス、司法省ニ於テモ、爾後ノ經驗ニ徵シテ、ドウモ復活スル方ガ餘程ノ便利デアルト云フコトノ決定ニハナツテ居リマス、併シ必シモ悉ク復活スルノ必要ハナカラウカト思ヒマスガ、先ヅ其大部分ハ復活シタ方が國民ノ經費ノ上ニ於テモ餘ホド利益デアアル、事務ノ便否ノ上カラ云ヘバ殆ド議論ヲ加ヘル餘地ハナイ程ト信ジテ居リマス、唯如何ニセム、目下ハ時局ノ影響ヲ受ケテ收入ガ大ニ減ジテ居リマス爲ニ、新シキコト及一旦廢止シタコトハ成ルベク之ヲ復活スルト云フ如キコトハセナイト云フ方針ニナツテ居ル、是ハ已ムヲ得ヌ、唯金ノ點デ、其事ガ是ナリトシタ譯デアリマスマイガ、金ガナイ爲ニ已ムヲ得ズ新シキコト、又行政整理一旦廢止シタコトハ先ヅ來年ニ於テハ復活シナイデ現狀ヲ維持シヤウト云フコトニナツテ居リマス爲ニ、今回ノ豫算ニモ一箇所ノ復活モ計上スルコトガ出來ナカッタノハ甚ダ遺憾ノ次第デアリマスガ、他日財政狀態ガ通常ニ復シマシテ多少ノ餘裕ヲ生ズルヤウニナツタナラバ區裁判所ノ大部分或ハ支部ノ復活等モ或ル程度マデハ是非イタシタイト考ヘテ居リマス、又内閣ノ他ノ同僚ニ於テモ財政ノ狀態サヘ復スルナラバ略々ソレニ同意スルデアラウト思ウテ居リマスガ、今回ハ遺憾ナガラソレヲ實行スルコトガ出來マセヌノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス：諸君ニ御諮リヲ致スコトヲ落シマシタ、唯今、司法大臣ノ説明セラレタ兩案トモ同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔成瀬書記官朗讀〕

裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案外一件特別委員

伯爵奥平 昌恭君 子爵勘解由小路資承君 子爵酒井 忠亮君

平山 成信君 男爵中川 興長君 河村 讓三郎君

谷森 眞男君 奥山 政敬君 竹村與右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年十二月二十三日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案
東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本ハ漸次増加シ各參百五十拾萬圓トス

〔國務大臣岡市之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡市之助君) 今回提出イタシマシタ東京及大阪ノ兩工廠ノ据置運轉資本ヲ大正五年度ヨリ逐次増加シマシテ三百五十萬圓増加イタシマス、即チ現在ノ据置運轉資金ガ兩工廠合シマシテ矢張り三百五十萬圓デゴザイマスノ其倍額ニ致シタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス、ソレデ兩工廠ノ据置運轉資本ハ當初ハ百萬圓餘リデゴザイマシタノガ、明治三十年マデニ逐次増加セラレマシテ三百五十萬圓ノ現今ノ資本額ニナリマシタ、然ルニ爾後ノ作業ノ經營ノ實驗上カラ申シマシテ、常ニ運轉資本ノ缺乏ヲ感ジテ居リマシタガ、日露戰後今日マデ及今後若干年間ハ既ニ御協贊ヲ經テ居リマスル所ノ整備費及臨時軍事費等ノ臨時費ガゴザイマシテ、此臨時費カラ會計法規ノ許ス範圍ニ於テ陸軍大臣ガ前拂ヲ致シマシテ、ソレニ依ッテ兩工廠ハ材料ノ購入等ヲ致シテヤッテ參リマシタ、併シ此臨時費ナルモノモ今後數年ノ後ニハ無クナリマスノガ當然デアリマス、數年ノ後ニ至リマスト其融通ヲナスベキ金ガナイ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、今日カラ逐次増加ヲ致シマシテ結

局三百五十萬圓ダケヲ増加ヲ致シタイト云フ希望デ、無論是ハ砲兵工廠ノ作業益金：政府ニ納メマスル作業益金ノ中ヲ以テ財源ニ充テルト云フ豫定デゴザイマス、ドウゾ御協贊ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モナイヤウデアリマスカラ特別委員ノ氏名ヲ報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案特別委員
伯爵松平 直之君 子爵樋口 誠康君 子爵大河内 正敏君
男爵村木 雅美君 男爵太秦 供康君 男爵山内 長人君
男爵徳川 厚君 佐藤友右衛門君 美馬儀一郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、貨幣法中改正法律案、政府提出第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

貨幣法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年十二月十六日

右特別委員長

子爵青木 信光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵青木信光君演壇ニ登ル〕

○子爵青木信光君 貨幣法中改正法律案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、最早大分遅クナリマシタ故ニ極ク簡單ニ御報告イタシマス、本委員會ハ去ヌル十六日開會イタシマシテ正副委員長ノ選舉ヲ終リ、引續イテ會議ヲ開キマシテゴザイマス、例ニ依リマシテ政府委員ヨリ説明ヲ聽取イタシマシテ、ソレノ質問モゴザイマシタ、本案ノ改正ノ主ナル點ハ第六條、第十條、第十一條中ニ記載シテアリマス「グラム」ノ計量ノ記載ヲ削ルコトト、白銅貨幣竝ニ一錢、五厘ノ青銅貨幣ノ改鑄ヲシタイト云フコトデアリマス、貨幣法制定ノ當時ニハ我國ニ於キマシテ秤量器ガ誠ニ不完全デゴザイマシテ極ク細微ノ數ヲ量リマスニハ「グラム」秤ヲ用ヒマセスト量ルコトガ出來マセヌデゴザイマス爲ニ、尙「グラム」兩方ヲ竝用シテ居リマシタガ、近頃ハ我國

ニ於テ完全ナル秤量器ガ出來マシテ「グラム」秤ヲ用フルノ必要ガアリマセズ、又兩方ヲ竝用イタシマストキハ却ッテ矛盾モアリマシテ面白クゴザイマセヌカラ、之ヲ削リタイト云フコトト、現今ノ白銅貨ハ二十錢銀貨ト量目、形體ガ殆ド相類似シテ居リマシテ、往々使用上ニ間違ガ生ジマス、之ヲ携帶使用スルニモ非常ニ不便ノ點ガ多ウゴザイマス、又意匠モ如何ニモ簡單ナ爲ニ偽造モ仕易イ虞モゴザイマスカラ、其間違ヲ防グ爲ニ真シ中ニ圓イ孔ヲ開ケマシテ、一目瞭然ト此區別ノ分ルヤウニ致シタ、其事ト又贋造ヲ防グニハ現今ヨリ少シク意匠ヲ精密ニ致シテ之ヲ防ギタイト云フコトデゴザイマス、一錢竝ニ五厘ノ銅貨ハ金ガ一匁二圓五十錢時代ニ造リマシタモノデアリマシテ、其形ガ大分大キウゴザイマシテ、携帶使用ニモ非常ニ不便ヲ感ジマス、又各國ノ補助貨ニ較ベマシテモ形ガ餘ホド大キウゴザイマス、今ハ金ガ一匁五圓イタシマスル時代デアリマスカラ、其形ヲ小サク致シマシテ、是ガ融通ノ便利ヲ計リタイト思ヒマス、且又朝鮮併合以來、貨幣統一ノ希望モゴザイマシテ、朝鮮總督府ト協議ノ結果、成ルベク早ク是ガ統一ヲ圖リタイト云フコトデ、旁々白銅貨竝ニ一錢、五厘ノ銅貨ニ改正ヲ要スル次第デゴザイマス尙ホ唯今内地竝ニ朝鮮デ流通ヲ致シテ居リマス白銅貨ハ九百十八萬圓、二錢銅貨ガ三百十萬圓、一錢銅貨ガ五百八十萬圓、五厘銅貨ガ二百五萬圓ダサウデアリマス、而シテ現在ノ造幣局ノ製造力ヲ以テ是ガ改鑄ヲ致シマスルニハ白銅貨ハ年々五十萬圓ヲ鑄造シテ二十年、二錢銅貨ハ年々十一萬圓鑄造シマシテ二十年、一錢銅貨ハ年々十一萬圓鑄造シマシテ五十年、五厘銅貨ハ年々四萬圓鑄造シマシテ五十年掛ルサウデアリマス、尤モ二錢ノ銅貨ハ明治三十年ニ改鑄ニナリマシタガ、造幣局ノ製造力ノ不十分ナル爲ニ不足ヲシテ居ル而シテ是ガ改鑄ニ對スル造幣局ノ收入ガ千五百三十六萬餘圓、支出ガ千四百五十七萬餘圓、差引純益七十九萬餘圓ニナルサウデアリマス、以上委員會ニ於キマシテ多少ノ質問ハゴザイマシタガ、結局一人ノ異議モナク全會一致ヲ以チマシテ原案通りニ可決ニナリマシタ次第デアリマス、此段ヲ御報告ヲ致シマス、尙ホ此案ハ誠ニ簡單ナル案デゴザイマスカラ、ドウカ讀會ヲ省略イタシマシテ直チニ決議アラムコトヲ希望イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○伯爵吉井幸藏君 讀會省略ニ賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○子爵野村益三君 賛成

○男爵阪井重季君 賛成

○男爵山内長人君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○子爵五辻治伸君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○下條正雄君 賛成

○子爵松平康民君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 青木子爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス：原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、小樽區ニ爲替貯金支局設置ノ請願、第十三、札幌區ニ爲替貯金支局設置ノ請願、第十四、朝山郵便局設置並電信事務開始ノ請願、第十五、大湊鐵道速成ノ請願、第十六、國語國字國文ノ改良ニ關スル請願、會議

意見書案

小樽區ニ爲替貯金支局設置ノ件

小樽商業會議所會頭高橋直治呈出

右ノ請願ハ小樽區ハ北海道及樺太沿海地方ニ於ケル百貨出入ノ要衝ニ當リ商業取引亦殷盛ヲ極ム然ルニ是等ノ地方ハ金融機關ノ施設未普キニ至ラス帝國北部地方ノ開發上不利益尠カラサルヲ以テ小樽區ニ爲替貯金支局ヲ設置セラレムコトヲ議院ニ請願シ既ニ其ノ採擇ヲ得タルニ拘ラス未實行ヲ見サルハ甚遺憾ナルヲ以テ大正五年度ニ於テ北部ニ之ヲ新設セラルル場合ニハ小樽區ニ置カレタストノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト決議致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

札幌區ニ爲替貯金支局設置ノ件

北海道札幌區北一條西二丁目士族質商安部腰次郎外三百五名呈出
右ノ請願ハ北海道ハ拓殖ノ進歩ニ伴ヒ郵便貯金ノ額著シク増加シタリト雖
未金融機關ノ利便完カラス爲替貯金支局ノ設置ヲ必要トス而シテ札幌區ハ
北海道拓殖ノ中樞ニシテ官衙學校銀行等ノ施設備リ該支局設置ノ地トシテ
最適當ナルヲ以テ同道ニ之ヲ設ケラルル場合ニハ同區ニ置カレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

朝山郵便局設置並電信事務開始ノ件

島根縣簸川郡高松村長朝山榮太呈出
右ノ請願ハ島根縣簸川郡高松村ハ戶口多ク諸種ノ銀行會社等ノ施設アリ殊
ニ近時朝山停車場ノ設置セラレシ以來貨客ノ出入頻繁トナリ郵便電信ノ發
著一層多キヲ加ヘタルト今市郵便局ノ管轄ニ屬スルハ不便甚シキトニ依リ
同村大字松寄下ニ朝山郵便局ヲ設置シ電信事務ノ取扱ヲモ開始セラレタシ
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院
法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

大湊鐵道速成ノ件

青森縣下北郡田名部町平民農西山忠勝外百八十一名呈出
右ノ請願ハ大湊鐵道ノ敷設ハ青森縣下北郡下產業ノ發達上並帝國ノ防備上
多大ノ利益アルヘキヲ以テ之カ施工ヲ議院ニ請願セシコト數回ニ及ヒ其ノ
採擇ヲ得タルニ拘ラス未實行セラレサルハ地方人民ノ甚遺憾トスル所ナル
ヲ以テ最近ノ時期ニ於テ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

大正四年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

國語國字國文ノ改良ニ關スル件

東京市神田區一ツ橋通町社團法人帝國教育會理事岡五郎呈出
右ノ請願ハ國語國字及國文ヲ改良統一スルハ教育ノ振興及國運ノ進展ニ資
スルコト大ナルニ拘ラス未錯雜不統一ノ現狀ヲ脱スルニ至ラサルハ子弟ノ
教育上忍ヒ難キ所ナルニ依リ速ニ適當ナル機關ヲ設ケ之カ改良ノ方法ヲ調
査セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決
致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

○谷森眞男君 唯今問題ニナツテ居リマス日程ノ第十一ヨリ十五マデノ請願
ニ付キマシテハ別ニ要ハゴザイマセヌ、第十六ニ當リマスル國語國字國文ノ
改良ニ關スル請願ト云フ、是ハ今少シ調査ヲ委員ニ於テ願ヒタイト考ヘマス
此事ニ付キマシテハ本院ニ於テ少シ歴史ガアリマス、先年文部省ニ於テ小學
讀本ニ、改良デアルト云フヤウナ積リカシテ、文章上ノ書キ方ニ付テ妙ナコ
トガアリマシタ、其時分ニハ世間カラ餘ホド非難ノ聲ガ出マシタ、又本院ニ
於テモ色々非難ヲ致シタノデアリマス、ソレニ付テ既ニ貴族院議員アタリカ
ラモ調査委員ヲ設ケラレテ、現ニ今日ハソレガ又舊ノ文法ニ復ッテ居ル次第

デアリマス、左様ナ行懸リノアルモノデゴザイマス、是ハ平易ニ採擇ニナルベキ事柄デハナイト本員等ハ信ジマスカラ、今少シ御調査ニナルコトヲ希望シマス

○男爵石黒忠恵君 本員モ第十六ノ國語國字國文ノ改良ニ關スル請願ノコトニ付キマシテハ卑見ガゴザイマスガ、唯今谷森君ガ述ベラレタ外ニ、尙ホ子弟ノ教育上忍ビ難キ所アリト云フ文字ガゴザイマシテ、今迄行ッテ居リマスルコトニ付テ忍ビ難イト云フコトヲ認メマスニハ餘ホド調査ヲ致シマセヌケレバ相成リマセヌ、故ニ今ノ谷森君ノ、第十六ダケハ尙ホ御調査ヲ重ネラレタイト云フコトニ賛成デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ニ確メマスガ、谷森君ノ御希望ハ、議事日程第十六ノ請願ハ、本日議スルコトヲ延期シテ、請願委員ニ再付託ヲ求メルト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○谷森眞男君 多分左様デゴザイマス、今日之ヲ採擇ニナルト云フコトハ見合セニナリマシテ、尙ホ請願委員ニ於テ今一應審査ニナルコトヲ希望イタシマス

○男爵原口兼濟君 唯今ノ谷森君ノ御説ハ、ドレダケノコトガ請願委員ニ於テ調査ガ少イト云フ御考デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ、ドウ云フ譯デ調査ガ足りナイ、是ダケノ所ガ調査シテナイカラ、ソレデ足りナイト云フ御考デゴザイマスガ、ソコヲ伺ッテ置キタイ

○谷森眞男君 唯今原口男爵カラノ御尋デゴザイマスガ、是ハドウ云フ風ニ調査シタラト云フコトハ茲デチヨット私カラ申上ゲル譯ニハ行カナイ、是ハ請願委員ニ於テ尙ホ篤ト御調査ニナルナラバ御分リニナルコトト存ジマス

○男爵原口兼濟君 然シ尙ホ調査スルガ宜イト云フ御考デアレバ、是マデ調査シタ所ノ方法ヲ御承知ノ上御尋ニナルカノコトト考ヘマスルガ、ドウ云フコトガ調査ガ落チテ居ルカラ此邊ヲ調査シタラ宜カラウト云フ御趣意ヲ伺ッテ置キタイ、私モ請願委員：：請願委員トシテ伺ッテ置キタイ

○谷森眞男君 是ハ請願委員會デ若シモ私ノ意見ヲ御尋ニナリマスルナラバ申上ゲマス、併シ本會デ此事ヲ茲デ申上ゲマスト時間ヲ要シマシテ甚ダ時間ヲ費シマスカラ、ソレハドウカ今日ノ所ハ不採擇ニナリタイト考ヘルバカリデアリマスガ、其以上ノコトハ又委員會ニ於テ御尋ガアレバ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ニ尙ホ伺ヒマスガ、今最後ニ御述ベニナリ

マシタデゴザイマスガ、今日ハ先ヅ不採擇ニシテ置キタイト云フ御言葉ガアツタヤウデアリマスガ、サウ致スト前ニ議長ノ申上ゲタコトトハ少シ違フヤウニ思ヒマス

○谷森眞男君 ドウカ是ハ不採擇ヲ希望シマスルノデス、併ナガラサウ云フコトニナリマセヌデ、ドウカ今一應請願委員ノ方ヘ再調査ヲ願フト斯ウ云フコトニ致シタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第十二ヨリ第十六マデ問題ニ供シマシタガ、第十六ニ於テ谷森君ノ御意見ガゴザイマスカラ、先ヅ採決ヲ致シマスノハ、第十二ヨリ第十五マデノ請願ト御承知ヲ請ヒマス、第十二ヨリ第十五マデノ請願ハ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵久保田讓君 唯今此第十六ノ請願ガ議題ニナッテ居ルノデゴザイマスガ

○議長(公爵徳川家達君) 左様デゴザイマス

○男爵久保田讓君 段々御説ガゴザイマスガ、是ハ隨分喧マシイ問題デ、教育調査會ガ文部省ニ設ケラレテ、是ニモ實ハ大分議論ガゴザイマシテ、調査會カラモ建議ニナッテ居ルヤウナ次第デ、私モ文部大臣ガ御出席ニナッたらバ調査會デドウ云フ調査ニナリマシタカ、又文部大臣ハドウ云フ御意見デアルカ：：ソレカラ前年ハ國語調査會ト云フモノガ文部省ニアッテ調査シテ居

リマシタガ、行政整理ノ結果廢サレテ、又更ニ興サレルト云フヤウナ譯デ、サウ云フ問題デアリマスカラ、今日ハ文部大臣モ出席ガゴザイマセヌ、私モマダ承リタイトガアリマスカラ、兎ニ角今日ハ是ハ延期ト云フコトニ賛成イタシマス

○男爵原口兼濟君 是ハ其請願書ニアリマスル通り、速ニ適當ナル機關ヲ設ケ是ガ改良ノ方法ヲ調査セラレタシトノ請願デアリマス、ソレデ議院カラ申出ラレマスル所モ、請願ノ大體ノ趣意ニ於テハ採擇スベシト議院ハ議決スルト云フコトノ申出ニナリマスノデアリマスカラ、細カニ何モカモ極メテ採擇

ノコトヲ申出ルベキモノデハナイト自分ハ考ヘマス、其方法ニ依ッテ請願ヲ御申出ニナリマスレバ、是モ採擇ニナッテ少シモ差支ナイ考ナンデスガ：：

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ニモウ一應確メタイト思ヒマスガ、此請願

ハ不採擇：請願委員會ニ再付託ヲ求ムル、ソレカラモウツハ本日ノ會議ニ付スルコトヲ延期スル、此三ツノヤウニ存ジマスガ、谷森君ノ動議ヲ確メテ置カナイト、採決スルトキニ議長ハ困リマス、明瞭ニ御述ベニナリタイト思ヒマス

○谷森眞男君 私ノハ是ハ折角斯ウシテ請願委員ヨリ差出サレタコトデアリマスカラ、ドウカ請願委員ニ於キ是ハ今一應調査ヲスルト斯ウ云フコトニ相成ルコトヲ今日ハ希望イタシマス、併シ本來ノ趣意ハ不採擇ヲ望ムコトデアリマスカラ、若シ他ノ御方ニ於テ是ハ今日ハ延期シテ置カウ、斯ウ云フ御論ガ御多數アリマスレバ、私モソレニ矢張り賛成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 發議者ノ御意見ヲ確メテ置キタク思ヒマス、外ニ發議者ノ述ベラレタヨリ外ニモ申述ベラレタコトガアリマスレバソレニモ賛成スルト言ッテハ甚ダ妙ニナリマスカラ、發議者ニ於テドチラカ御極メニナリタイト思ヒマス

○谷森眞男君 然ラバ私ハ請願委員ニ今一應付託ニナリマシテ調査アラムコトヲ希望イタシマス

○平山成信君 何ダカ發議者ノ御説ヲ伺ッテ見テモ、如何ニモ此問題ハ熟シテ居ラヌヤウニ思ヒマス、今ノ久保田君ノ延期ト云フコトガ一番穩當カト思ヒマス、私ハ久保田君ノ延期ト云フコトニ賛成イタシマス

○男爵高木兼寛君 私モ久保田君ノ動議ニ賛成イタシマス

○男爵阪井重季君 私モ延期ノ説ニ同意イタシマス

○男爵内田正敏君 私モ延期説ニ同意イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ノ請願委員ニ再付託スルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス：久保田男爵ノ動議即チ此請願ノ會議ヲ本日ハ延期スル其動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵徳川家達君) 暫ク御著席ヲ請ヒマス、數ガ不明瞭デゴザイマスカラ久保田男爵ノ動議ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 久保田男爵ノ動議ニ同意ノ方ガ多イト認メマス、

本日ノ議事日程ニ掲ゲテアル議事ハ終了イタシマシタ、付テハ本年ノ議事ハ本日ヲ以テ終リト致シタイト存ジマス、茲ニ散會前ニ御諮リヲ致シタイトゴザイマス、休會ノコトハ明年一月十五日マデト致シタイト考ヘマス、ソレデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、併ナガラ休會ノ期限内ニ於テモ緊急必要ノ場合ニハ開會ヲ議長ヨリ促スコトガアルカモ存ジマセヌカラ、豫メ此事ヲ申上ゲテ置キマス、次ノ議事日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後三時四十九分散會

